



地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業 令和5年度事業結果の概要

2024年3月

目次

1. 本事業の背景と目的	3
2. 医療と観光の連携による地域の誘客に向けた取組	6
2.1 沖縄県：医療法人タピック	9
2.2 宮城県：宮城創生DMO	21
2.3 長野県松本市：「信州・松本発のウェルネス・ツーリズム」 推進委員会	36
2.4 鹿児島県指宿市：メディポリス医学研究所	49
2.5 評価分析	64
3. 中国国際医療観光展示会への出展	72
4. 地域の外国人受入れ人材育成モデルの実施可能性調査	76
5. 成果報告会	83
6. 今年度事業の成果及び今後への示唆	86

1. 本事業の背景と目的

日本政府は観光産業における高い目標を掲げてきたが、新型コロナウイルス感染症による訪日外国人旅行者数・消費額の落ち込みや諸課題により新たな目標が設定された

本事業の背景：観光産業における計画の変化

明日の日本を支える観光ビジョン (2016年3月策定)

訪日外国人旅行者数や消費額について高い目標を掲げていた

目標項目	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	4,000万人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15兆円



- 新型コロナウイルスの流行
- 世界的な「持続可能な観光」への関心の高まり
- 訪日外国人旅行者による地方滞在者数の伸び悩み

観光立国推進基本計画 (2023年3月閣議決定)

- 「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」をキーワードに新たな目標を設定
- 地方誘客に資する各種のコンテンツ整備の一環として、「**医療や健康増進と連携した観光の推進**」が示されている

■ 「観光立国推進基本計画」における目標

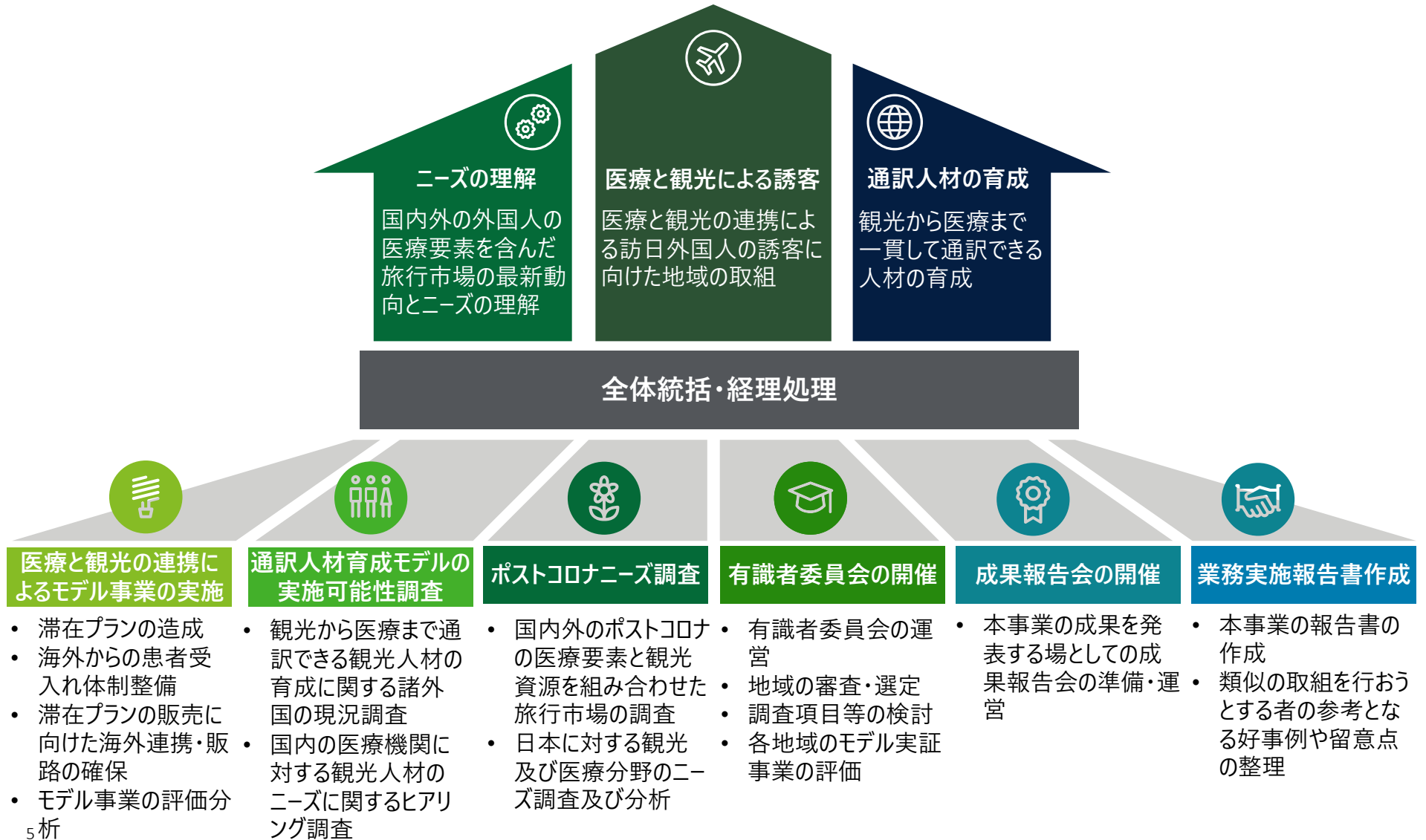
目標項目	2019年実績	2025年
訪日外国人旅行者数	3,188万人	3,188万人超
訪日外国人旅行消費額単価	15.9万円 / 人	20万円 / 人
訪日外国人旅行消費額	4.8兆円	5兆円 (※早期目標)
地方部での外国人一人当たり宿泊数	1.4泊 / 人	2泊 / 人

■ (参考) 新型コロナウイルス感染症による旅行・観光消費額への影響

	2019年	2021年	減少額・率
旅行・観光消費額	27兆9,000億円	9兆4,000億円	18兆5,000億円 △66%
内インバウンド	4兆8,000億円	1,000億円	4兆7,000億円 △97%

本年度はこれまでの実証成果の拡充に向けた取組に加え、特別な観光コンテンツ等との組合せによるインバウンドの誘客を行うためのモデル構築事業を実施した

本年度事業の目的



2. 医療と観光の連携による地域の誘客に向けた取組

医療と観光の連携による地域の誘客に向けた取組を進めるにあたり、モデル実証事業及びモデル構築事業を実施する地域を公募により選定した

公募事業の概要

ア) これまでの実証内容の成果拡充に向けたモデル実証事業

- ✓ 過年度の実証結果を踏まえ、下記の取組を行い、モニターツアー等により実際にインバウンドの受入れを行う
 - 海外の販売事業者等との連携 (販路確保) の強化
 - リピーター獲得に繋がる対象者の帰国後のフォロー体制の構築

イ) 特別な観光コンテンツと医療の組合せによるインバウンド誘客のモデル構築事業

- ✓ 他事業との連携を含めて、幅広い観光コンテンツとの組合せ、幅広い滞在・移動方法を念頭に、下記のうち一つ以上の取組を行い、実際の販売まで見据えたインバウンドの誘客に資する特別なプラン造成を行う
 - 粒子線治療 (医療要素) に親和性の高い観光コンテンツ又は特別な観光コンテンツを組合せたプラン造成
 - 健診等の団体ツアーの受入れを含むプラン造成
 - 健診等の医療要素に親和性の高い観光コンテンツ又は特別な観光コンテンツを組合せたプラン造成



低

医療要素

高

地域	モデル名称	医療要素	観光要素	国内の連携体制
沖縄県	ウェルネスプラン	タラソセラピー、 温泉療法	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験 文化・歴史体験 	<ul style="list-style-type: none"> ★ユインチホテル ・タラソセンター ・地域の中国人医師 ・宿泊施設 ・市町村及び観光協会
宮城県	検診プラン	検診	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験 文化・歴史体験 リラクゼーション 震災教育 	<ul style="list-style-type: none"> ★宮城創生DMOのBHEコミュニケーションズ ・検診クリニック ・交通会社 ・宿泊施設、旅館ホテル組合 ・観光事業者 ・市町村
長野県	ウェルネスプラン	検診＋ 体カドック	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験 文化・歴史体験 アクティビティ 	<ul style="list-style-type: none"> ★相澤病院 or 扉ホールディングス ・病院 ・宿泊施設 ・観光事業者 ・自治体・観光コンベンション協会
沖縄県	リハビリ長期滞在 型プラン	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ要素を含んだアクティビティ ・バリアフリー対応が可能な自然・文化体験 	<ul style="list-style-type: none"> ★ユインチホテル ・病院 ・宿泊施設 ・観光協会 ・市町村
鹿児島県	粒子線治療長期 滞在型プラン	がん治療	<ul style="list-style-type: none"> 治療の合間に楽しむオプショナル観光 ・長期滞在(生活) 	<ul style="list-style-type: none"> ★指宿観光 & 体験の会 ・病院グループ ・医療機関(問合せ窓口) ・渡航支援企業 ・宿泊施設 ・長期滞在施設 ・観光事業者

2.1 沖縄県：医療法人タピック

沖縄県は医療と観光の連携による訪日外国人の誘客に向けた地域の取組を推進するため、リハビリ及びタラソテラピーによるインバウンド誘客のモデル構築を行った

【沖縄県】事業概要

背景と概要

- 沖縄リハビリテーションセンター病院を中心に、「患者の個々の状態に合わせたリハビリプラン、観光施設やビーチ等の地域資源を活用したリハビリ」の取組を行うことを目的としている
- 一方で、中国国内でのリハビリテーション及びその効果に関する認知不足が課題となっていた
- 沖縄への医療ツーリズムの入り口となる仕組みのため、最長4週間のリハビリプランよりも手軽で多くの人に体験してもらえる「5日間の海洋療法プラン」を新たに検討開始した

目標

中長期的には、年間リハビリプラン10件、タラソテラピープラン40件を目標とする

想定ターゲット (リハビリ)

ターゲット国：中国
対象患者：リハビリテーションが必要な患者とその家族 (滞在期間は1週間～4週間)

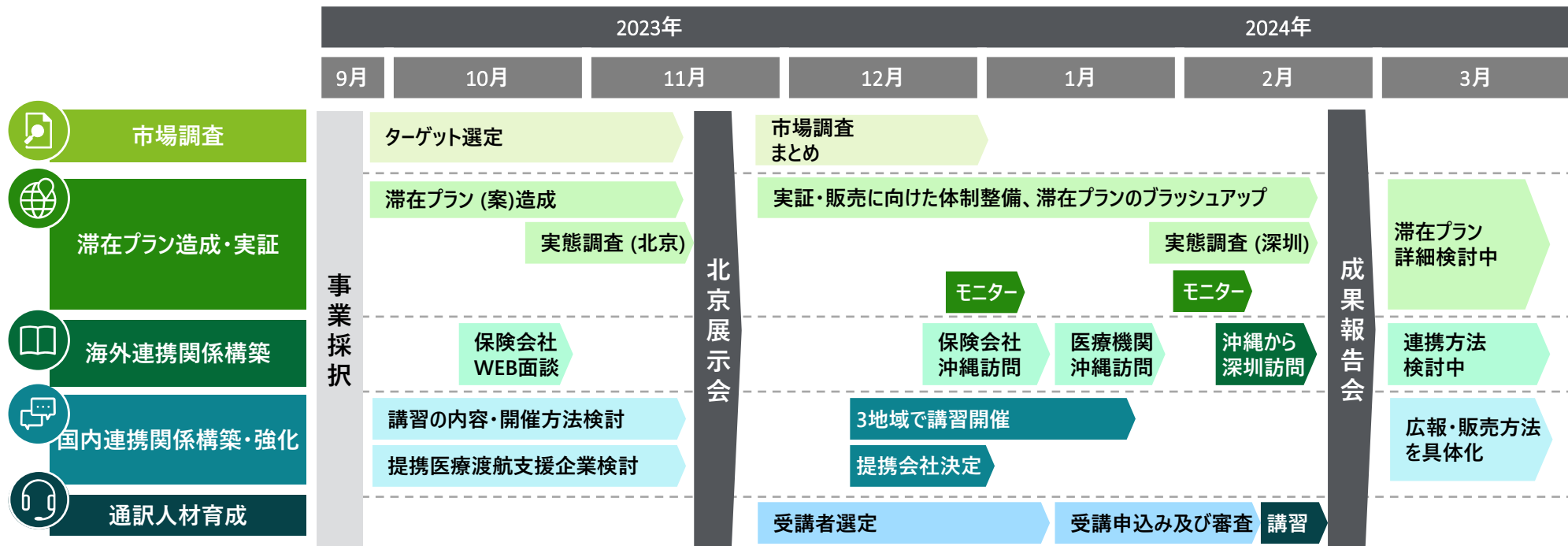
想定ターゲット (タラソテラピー)

ターゲット国：中国
対象患者：ウェルネスに関心のある方とその家族 (滞在期間は1日～1か月程度を想定)

項目	団体名		役割
実施団体	医療	沖縄リハビリテーションセンター病院	リハビリテーション治療の提供
	ウェルネス	タラソセンター宜野座	タラソテラピーの提供
	観光	<ul style="list-style-type: none"> • タピックグループ (ユインチホテル南城、東南植物楽園など) • 一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 • 一般社団法人南城市観光協会 • 一般社団法人宜野座村観光協会 	<ul style="list-style-type: none"> • ランドオペレーター、滞在プランの販売窓口 • 観光コンテンツの企画、広告素材の収集と制作 • 長期滞在中の宿泊先の提供 • 観光と組み合わせたリハビリテーションの提供
関係団体	行政	沖縄県沖縄市、南城市、宜野座村	観光ビジョンの策定と受入れ体制の調整
	渡航支援	国内医療渡航支援企業	中国人患者の渡航支援、患者紹介

沖縄の主な取組として、市場調査、滞在プランの造成・実証、海外連携関係構築、観光協会での講習開催による国内連携関係強化が挙げられる

【沖縄県】事業実施のスケジュール・概要



【各取組の概要】

市場調査

ターゲット選定のための外国人旅行者の動向調査、プラン内容検討のための市場調査を行った

滞在プラン造成・実証

- ①医療・観光を組合せた滞在プランの造成、受入れ体制の整備、モニター体験による実証を行った
- ②北京市や深圳市で病院視察を行い、リハビリ医療やリハビリ患者の実態を把握できた

海外連携関係構築

- ①中国深圳市の医療機関及び中国の保険会社の関係者が来日し、医療連携に向けた情報交換などを実施した
- ②中国深圳市の医療機関及び中国の保険会社との連携関係を確立するため、現地訪問を行った

国内連携関係構築・強化

- ①プラン滞在時に医療的配慮が必要な外国人観光客が観光施設を訪れることを想定し、観光協会での講習を実施した
- ②販売体制の整備のため、国内医療渡航支援企業と連携を行い販路の拡大に向けて調整を行った

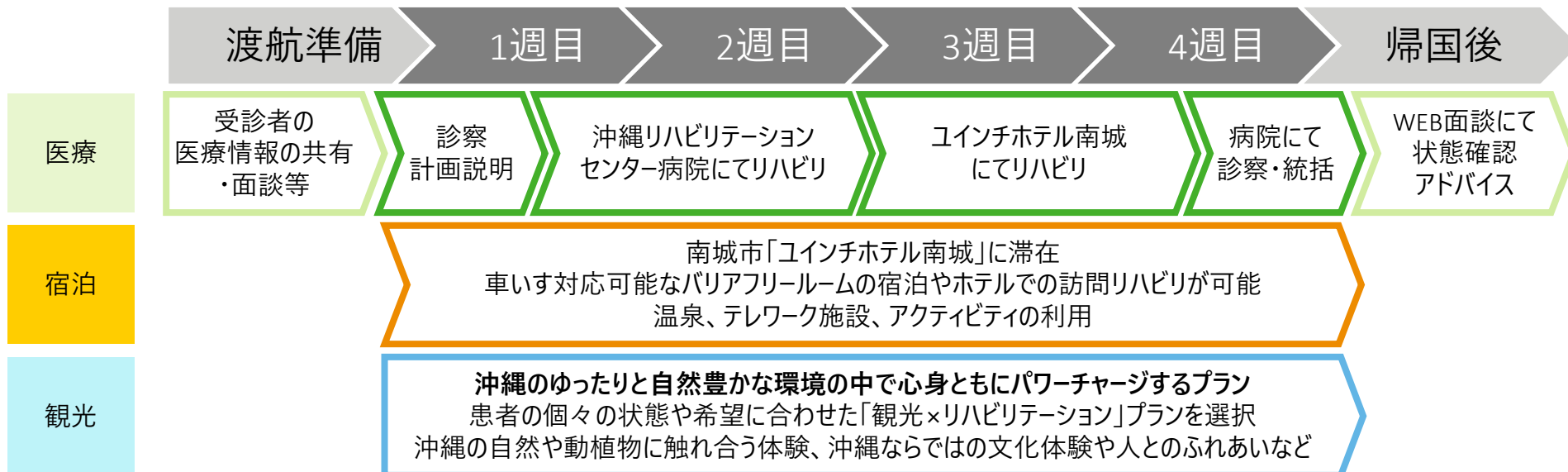
通訳人材育成

病院、宿泊施設、地域の観光協会それぞれから受講者を選定し、医療通訳人材育成講習を受講した

沖縄では個々のリハビリ患者の状態に合わせて最長3ヶ月の滞在プランを想定し、患者自身がリハビリの場所及び方法や観光プランを選択できるプランを提供する

【沖縄県】4週間のリハビリ治療の長期滞在プラン：沖縄のあたたかな自然で心身をゆったり改善する旅

概要:リハビリ治療の長期滞在期間中、沖縄の自然や動植物、地域の文化や人と触れ合うことにより、心身ともにリラックスする



医療

リハビリ設備



治療費約140万円～

宿泊

ユインチホテル南城



1泊(1名)22,000円～

観光

ホースセラピー



南城市ビーチ



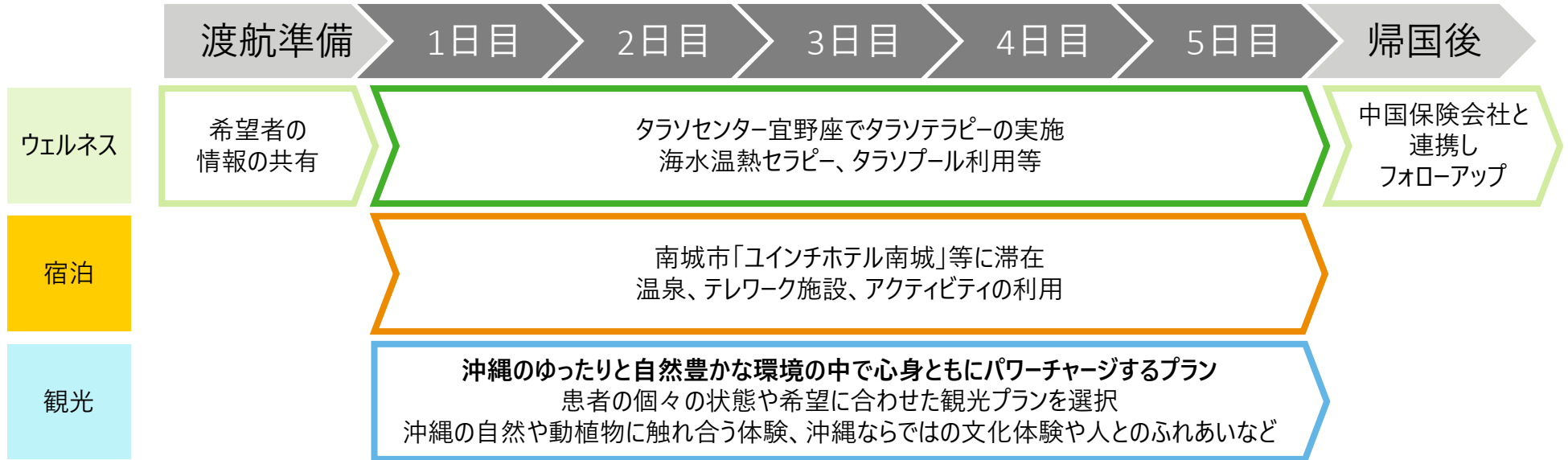
沖縄市エイサー会館



沖縄では健康意識の高い中国人向けに8日間の滞在プランを提供し、患者自身がタラソテラピーのプログラムや観光プランを選択できる

【沖縄県】日間のタラソテラピー滞在プラン：沖縄のあたたかな自然で心身をゆったり改善する旅

概要: タラソテラピーを行いながら、沖縄の自然や動植物、地域の文化や人とのふれあいを楽しみ、心身ともにリラックスして滞在する



ウェルネス

タラソ施設



宿泊

ユインチホテル南城



1泊 (1名)22,000円～

観光

南城市 鍾乳洞



沖縄市 東南植物楽園



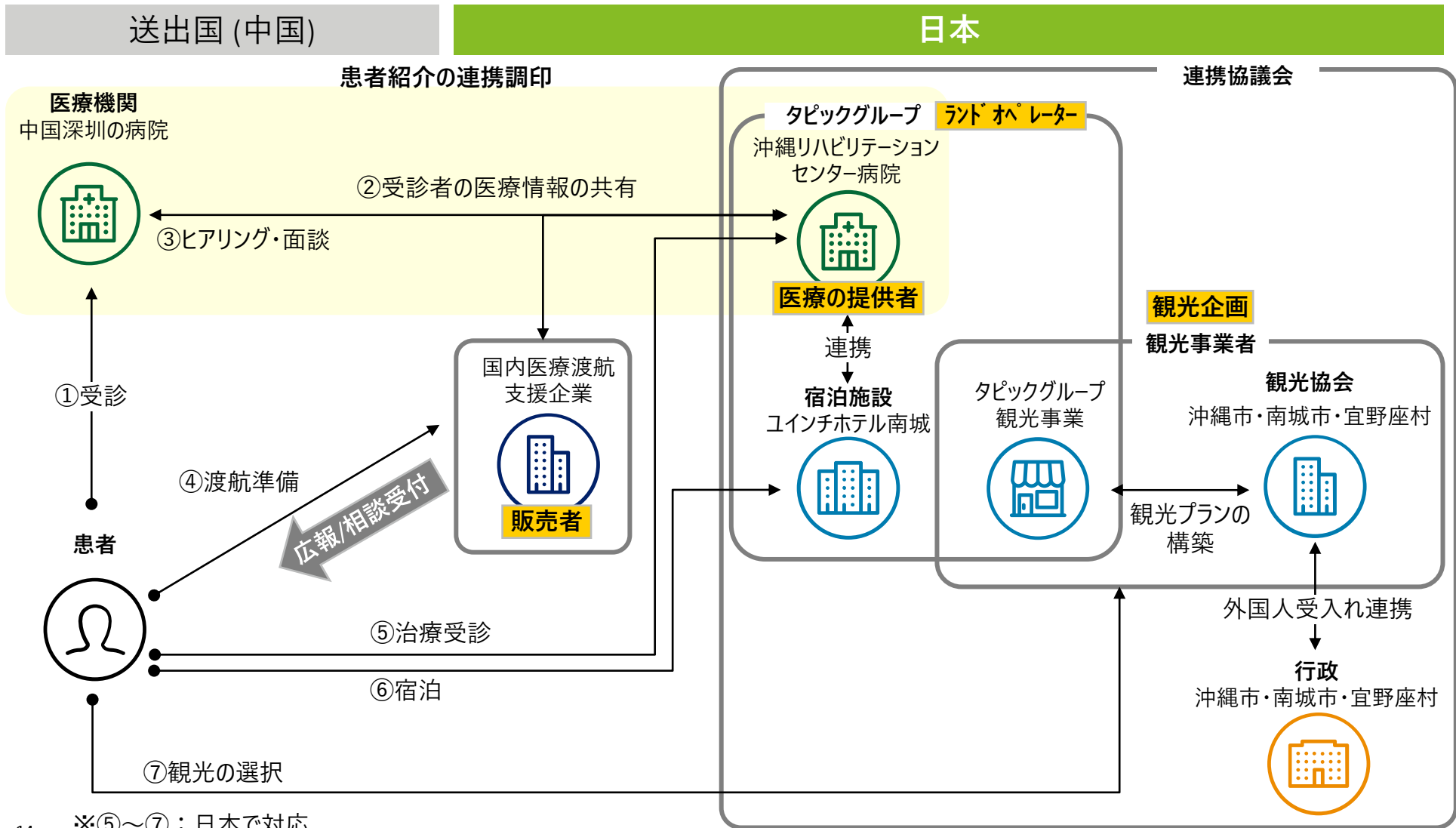
宜野座村ビーチ



リハビリ患者の送出国と日本の受入れ連携体制における「あるべき姿」では、患者の送出国と日本の医療機関・渡航支援企業・観光事業者・行政の連携が重要である

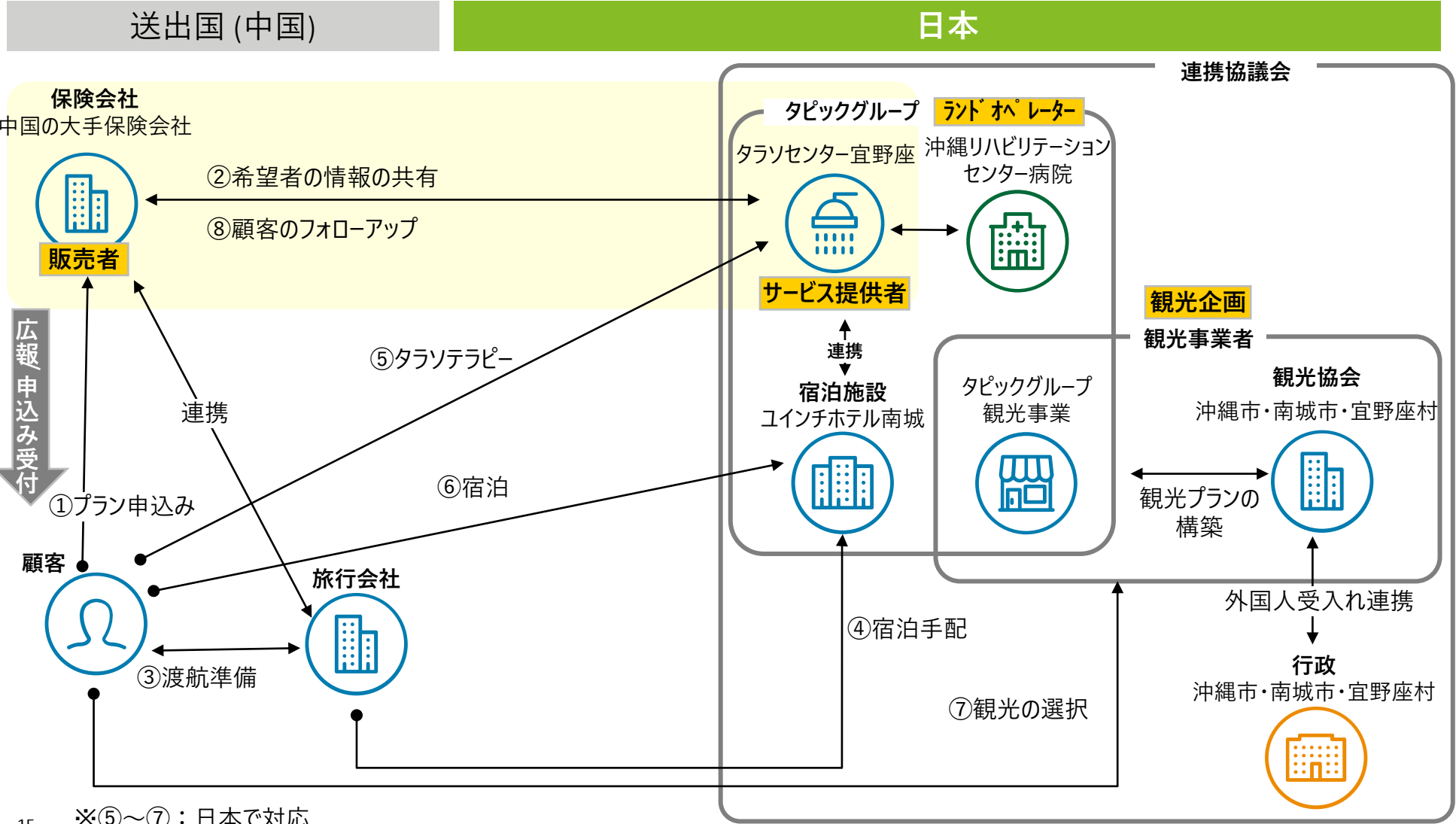
【沖縄県】外国人患者受入れの連携体制 (リハビリテーションプラン)

	: 医療機関		: 観光事業者等
	: 医療渡航支援企業		: 行政




タラソセラピーの対象者送出国と日本の受入れ連携体制における「あるべき姿」では、患者の送出国と日本のサービス提供者・渡航支援企業・観光事業者・行政の連携が重要である

【沖縄県】外国人患者受入れの連携体制 (タラソセラピープラン)



リハビリプランで長期滞在を行う外国人患者を想定し、医療従事者から観光協会向けに講習会を行い、外国人に協力いただきシミュレーションも行った

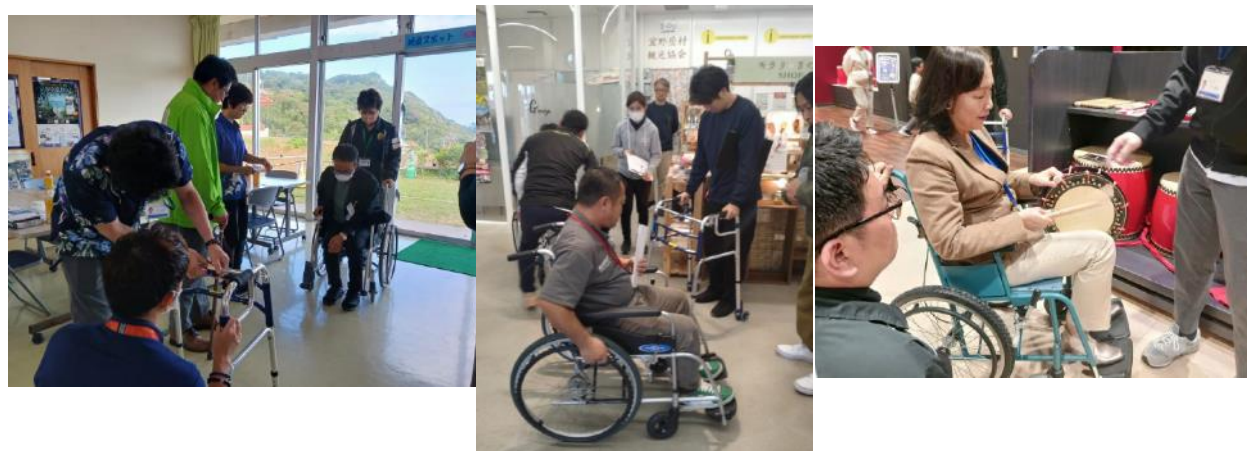
【沖縄県】各市町村観光協会で勉強会の開催

対象者	目的	実施場所	意見	課題	対応策
<p>沖縄県 沖縄市・南城市・宜野座村 観光協会</p> 	<p>プラン実証の 事前準備</p>	<p>各市町村 観光協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 車いすを使用する患者の立場に立って段差、目線の高さなどを考えることができた • InstagramやYouTubeでPRしていたが、制限があるため中国向けSNSの活用も必要 • 車椅子の方や外国の方のお手伝いできる場所であることの発信が必要 • 中国の電子マネーでの支払い可能などの説明・表記を明示 • 海外の観光客対応含め肢体不自由な方々に対応するシミュレーションができてよかった • 観光体験においては多言語での対応が急務 	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人観光客向けの設備の検討 • 中国向けの観光PR方法 • 現場での表示、設備 • 多言語対応 	<ul style="list-style-type: none"> • 車いすでも通りやすいようレイアウトや設備を変更 • 観光協会や地域での通訳体制の整備

事前学習内容





講習会の様子



タラソセラピープランのプログラムやPR方法の検討のため、中国保険会社の関係者と在留外国人を対象にモニターを実施し、滞在プランに意見を反映した

【沖縄県】中国保険会社関係者と沖縄在住外国人を対象にモニター実施

対象者	目的	実施方法	意見	課題	対応策
<p>中国保険会社関係者 2名</p> 	<p>タラソセラピープランの内容検討 広報のPR方法検討</p>	<p>モニター ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> メニューの一つ「バザルトストーンセラピー」の中に「婦人科系医師推奨」と記載があり、興味を持ち選択した 健康づくりというキャッチフレーズで専門性に重きをおくと良いかもしれない リハビリテーションは中国国内でまだ小さなマーケットであるため、認知に時間がかかると思う 	<p>PRしたい情報を正しく伝える方法</p>	<p>メニューの表記内容を中国人のニーズに合うものへと進化させる</p>
<p>沖縄県在住 外国籍対象者 3名</p> 	<p>タラソセラピープランの内容検討 広報に使用するエビデンスの取得</p>	<p>モニター ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毛細血管 & 血流チェックについて、通常を見ることがないので価値があると感じられ、高評価 メニューの一つ「海水温熱セラピー」について評価はあったが、「アツい」「赤い」という表現では試したいという感情に直結しにくく、リラックスできる情報を伝える方がよい 	<p>メニュー内容を正確に伝える方法</p>	<p>タラソセラピーの魅力が伝わる表現や見せ方を変えた表現方法でメニュー説明資料を変更</p>

タラソセラピープラン体験



タラソセラピープランの効果測定




VIPルームの設置



中国深圳市の医療機関と具体的な双方連携の方法を検討するため、互いの施設を訪問し、連携調印に向けた協議を行った

【沖縄県】中国深圳医療機関との連携強化に向けた協議

対象者	目的	実施方法	トピックス	課題	対応策
<p>中国深圳市 医療機関 (700床規模) (院長、他2名)</p> 	<p>リハビリ患者の紹介 に向けた連携関係 構築</p>	<p>中国→ 沖縄訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の医療の現状及びトピックが目指す医療・方策等 病院のこれまでの活動・今後の龍城病院について 今後の連携強化に向けて、双方での文化及び治療方針の理解を促進するための連携方法を協議 今後の患者紹介に向けた連携方法を協議 	<p>病院間の連携 方法の具体的 な方法</p>	<p>沖縄及び深圳 で相互の人材 交流を進める</p>

深圳市の医療機関 → 沖縄県訪問



外来リハビリ室の視察





病院の取組を紹介



今後の交流に向けた意見交換

中国深圳市の医療機関及び保険会社と具体的な双方連携の方法を検討するため、沖縄県から深圳市を訪問し、連携調印に向けた協議を行った

【沖縄県】中国深圳医療機関及び保険会社への訪問

対象者	目的	実施方法	意見	課題	対応策
<p>中国深圳市 医療機関 (700床規模)</p> 	<p>リハビリ患者の紹介 に向けた連携関係 構築</p>	<p>沖縄→ 中国訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本のリハビリサービスはホスピタリティ等参考になる点が多く、<u>今後シンポジウムなどを通じたリハビリの学术交流を図っていくことに合意</u> 中国では退院患者は基本的に自宅に帰るが<u>退院後、沖縄県で継続してリハビリを希望する方を紹介</u>していただく 	<p>今後の学术交流や患者紹介連携の具体的な方法</p>	<p>中国からリハビリ患者の紹介や医療者の派遣などについて具体的な方法を検討する</p>
<p>中国大手保険会社</p> 	<p>保険加入者へのタラソテラピープランの販売方法の検討</p>	<p>沖縄→ 中国訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> <u>中国の自社保険加入者向けに健康管理・増進などのサービスの提供が決定した</u> 具体的なプラン販売に向けて時期や方法を調整中 	<p>今後のウェルネスプラン販売に向けた進め方の協議</p>	<p>定期的に保険会社と打合せを行い、プラン販売方法について具体化を進める</p>

沖縄県 → 深圳市の医療機関



中国深圳医療機関の視察



中国の伝統医療療法の様子



今後の交流に向けた意見交換

今年度、沖縄県では中国深圳の医療機関及び中国保険会社との連携体制構築を大きく進めることができ、今後はプランの実施に向けて国内連携体制を更に強化する

【沖縄県】今後の展望と課題

今年度事業で得られた成果

今後への示唆

国内連携体制



- 各自治体で医療的配慮が必要な外国人旅行者の受入れを行うための講習を実施し、必要なサポートの体制を強化できた
- 国内医療渡航支援企業との連携を行い、販路の拡大に向けて調整中

- 地域・医療機関・観光協会の3者の連携体制を強化し、滞在プラン利用者が地域の観光をより安心して楽しめるよう、サービス提供体制を整備することが重要である
- 新たな販路拡大に向けて広報及び販売方法の確立を継続して検討する

滞在プラン造成・販売



- 北京市や深圳市で病院視察を行い、リハビリ医療やリハビリ患者の実態を把握できた
- タラソテラピープランのモニター実証を行い、実販売に向けて具体的な滞在プランを作成した

- 中国深圳の医療機関との相互交流のため、医療者の派遣など具体的な方法を検討する
- 中国深圳の医療機関からリハビリ患者の受入れに向けて関係者との具体的な連携プランのブラッシュアップする
- 中国の保険会社と連携し、タラソテラピーを組み込んだ健康増進効果のあるウェルネスプランの構築を進める
- 中国の保険加入者へのプラン実施に向けて地域と連携し体制を構築する
- モニターの結果、タラソテラピーの効果を数値化することができたが、今後の広報への具体的な活用方法や広告規制などを確認する必要がある

海外連携体制



- 中国深圳の医療機関と連携調印や患者紹介、学术交流に向けて具体的な方法を検討することができた
- 中国保険会社と保険加入者へのウェルネスプランの販売に向けた具体的な内容を協議できた

2.2 宮城県：宮城創生DMO

宮城県は医療と観光の連携による訪日外国人の誘客に向けた地域の取組を推進するため、観光コンテンツと検診の組合せによるインバウンド誘客のモデル実証を行った

【宮城県】事業概要

背景と概要

- 東北地域の医療と観光資源を組合せた最適な滞在プランを造成し、ツアーの参加者のニーズを満たすと同時に、地域への経済効果が期待できる持続可能なモデルを目指す
- 一方、東北は海外からの認知が少ない、医療ツーリズムの考え方や体制の意識が低いことが課題となっている

目標

- 中国からの検診者を5名来日させる
- 中国向けPRで10万PVを獲得できるようにする

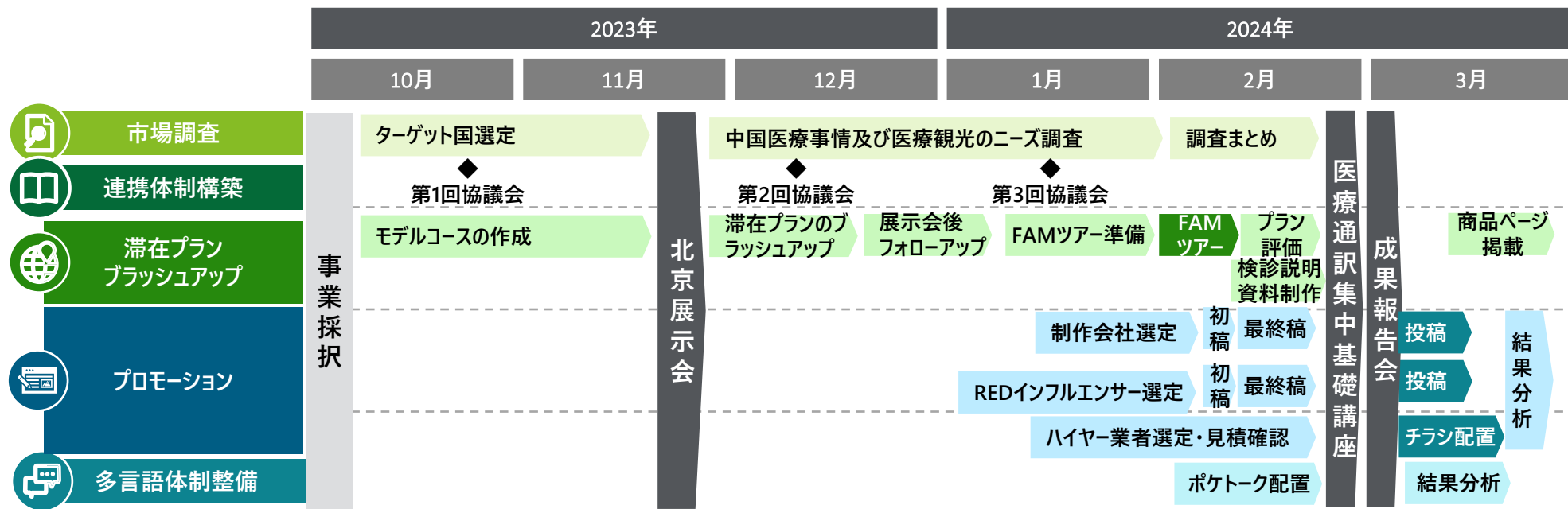
想定ターゲット

ターゲット国：中国
 対象受診者：40代、50代で世帯年収が40万円(約835万円, 2024.03.21時点) 以上の中上所得層、検診＋観光のニーズが高いファミリー層(滞在期間は約5日)

項目	団体名		役割
実施団体	医療	仙台画像検診クリニック	検診の提供
	観光	<ul style="list-style-type: none"> • 仙台中央タクシー • 遠刈田温泉旅館ホテル組合 • 白石城 • みやぎ蔵王えぼしスキー場 	<ul style="list-style-type: none"> • 受入体制の整備 • 滞在中のプランの共有・協議 • 専用車手配 • 受診者への宿泊先の提供
	渡航支援	日中BHEコミュニケーションズ	<ul style="list-style-type: none"> • 中国人受診者の渡航支援、患者紹介 • ランドオペレーター、滞在プランの販売窓口
関係団体	行政	<ul style="list-style-type: none"> • 白石市 • 柴田町 • 蔵王町 	<ul style="list-style-type: none"> • 受入体制の整備 • 滞在プランのPR
	通訳	日中BHEコミュニケーションズ	滞在プランの体験時に通訳人材の派遣

地域独自の主な取組として、市場調査、連携体制構築、滞在プランブラッシュアップ、プロモーション、多言語体制整備が挙げられる

【宮城県】事業実施のスケジュール・概要



【各取組の概要】

- 市場調査
- 連携体制構築
- 滞在プランブラッシュアップ
- プロモーション
- 多言語体制整備

ターゲット選定のための中国人旅行者の動向、中国医療事情及び医療観光ニーズ調査を行った

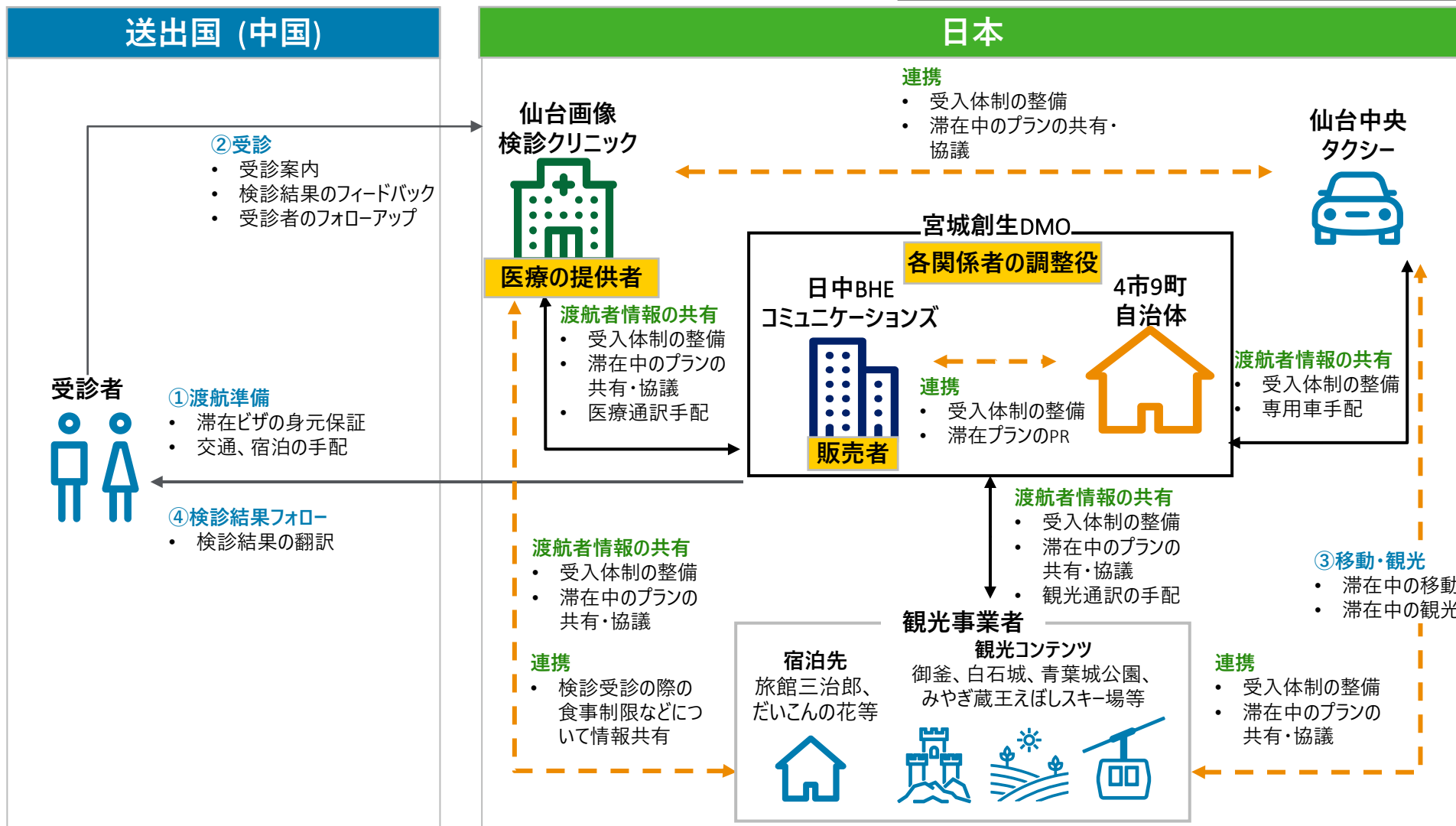
自治体、医療機関、観光事業者、タクシー会社が一同に協議する協議会を3回開催し、今後宮城創生DMOの協議会に統合する予定である

モデルコースを作成した上で北京展示会に出展した。展示会後のフォローアップのうちの1社の営業担当者及びその家族計6名を対象にFAMツアーを実施し、そのフィードバックをもとに、モデルコースを確定し、検診の流れを説明する資料を作成した。FAMツアーの意見を踏まえ、滞在プランのチラシを作成し、日本に旅行した中国人旅行者の送迎用ハイヤーに配置した。また、PR動画を撮影し作成した。更に、中国の人気SNSのREDのインフルエンサー6名を選定し、記事及び動画を投稿した

観光事業者、宿泊事業者にポケットクをレンタルし多言語ツールの実証を行った

宮城創生DMOが各関係者の調整役を担当し、医療機関・観光事業者・行政のより深い巻き込みを実現している

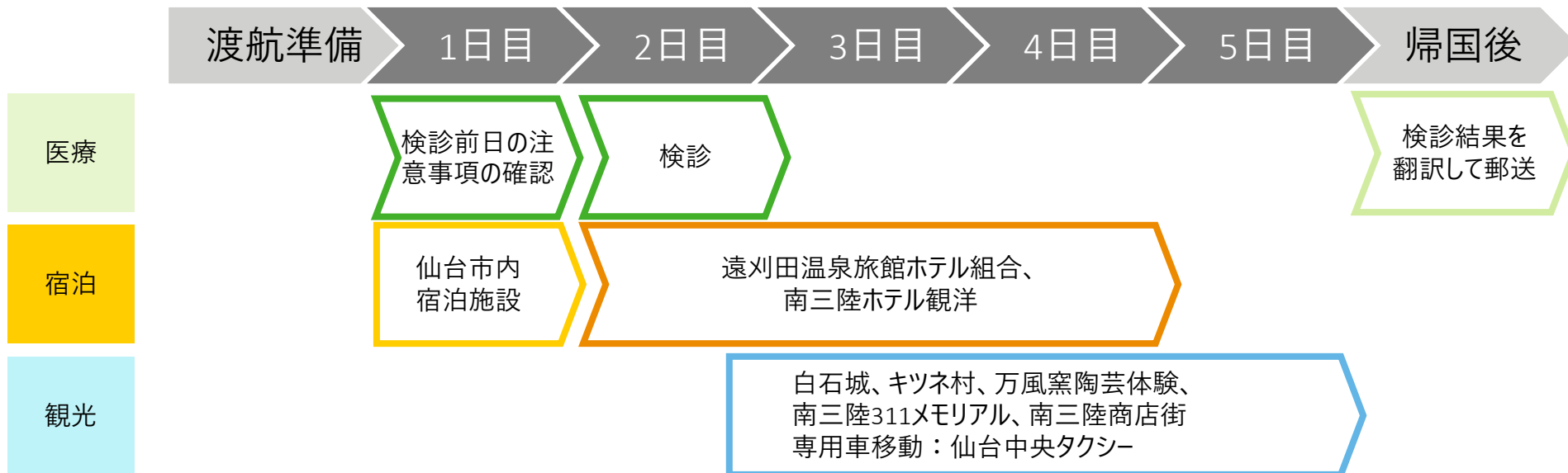
【宮城県】外国人受診者受入れの連携体制



展示会の意見を踏まえ、宮城への検診にあたり、リラクゼーションの要望に合わせて自由に観光コンテンツをカスタマイズできる4泊5日の滞在プランを造成した

【宮城県】4泊5日の滞在プラン：日本のハイエンドの検診と宮城の絶景を楽しむ旅

概要: 検診後に、心と体がリラックスできる宿泊と観光コンテンツとの組合せにより宮城のディープな旅を楽しむ



医療



宿泊



観光



中国春節に上海興彬国際旅行会社の営業担当者及びその家族5名の計6名が来日し、滞在プランを経験、評価した

【宮城県】FAMツアー概要

■ FAMツアー (Familiarization ツアー)

● 実施目的

- 家族向け滞在プランを体験し評価していただく
- プロモーション撮影に協力していただく
- 上海興彬国際旅行会社の商品ページにFAMツアーの様子を掲載していただく

● 参加者

- 上海興彬国際旅行会社営業担当者及びその家族5名計6名

日程	内容		宿泊
2/8 (木)	移動	上海→東京 (飛行機) 東京→仙台 (新幹線)	仙台ロイヤルホテル
	午後	青葉城見学、仙台市内観光	
2/9 (金)	午前	仙台画像検診クリニック検診、見学	旅館 三治郎
	午後	万風窯陶芸体験	
2/10 (土)	午前	キツネ村見学、白石城見学	南三陸観洋ホテル
	午後	南三陸地震教育施設見学	
2/11 (日)	午前	クラフトショップもくもくハウス、奥州柳津虚空藏尊見学	-
	午後	トーマツインタビュー	
	移動	仙台→東京 (新幹線)	

FAMツアーの様子



万風窯陶芸体験



白石城見学



南三陸地震教育施設見学

受診者が中国と日本の検診の違いに疑問を感じる場面があったため、事前に検診のスケジュール、目的、方法等の詳細を説明することで受診者の安心感につながると思われる

【宮城県】人間ドック受診・見学の概要及びフィードバック

日時	<ul style="list-style-type: none"> 2024年2月9日 (金) 11:00～15:30
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 受診者 (60代男性) 付き添い (上海興彬国際旅行会社営業担当者)
体験コース	<ul style="list-style-type: none"> ハイコース (がん検診 + 人間ドック, 190,000円)

受診者からのフィードバック

- 医療従事者の対応が良かった
- 施設がきれいだった
- 開始時間が午前11時であり、全体的な検診時間が長いため、前夜から空腹のまま午後まで検診することは高齢者にとって負担が大きい
- PET検査で75分間という長時間の安静時間について知らず待ち時間が長いと感じた。また、MRIの検査時間が長く、放射線による危害があるか不安であったため(*)、検診メニューについての詳細説明が事前にあるとありがたい
- 中国でも検診機器はそろってきているので、日本の検診の強みをアピールできる情報があると良い

* MRIは放射線を使わないため、被ばくの心配はない

検診受診の様子



聴力検査



説明時



医師のコンサルテーション

印象に残った観光コンテンツとして、上位3位に最も多いのは陶芸体験、キツネ村及び仙台市内散策あることから体験型のコンテンツが求められていると考えられる

【宮城県】FAMツアー実施後アンケートの回答一部抜粋 (1/2)

		参加者1	参加者2	参加者3	参加者4	参加者5	参加者6
性別		男	女	男	女	男	女
年代		10代以下	10代	40代	40代	60代	60代
日本に来た回数		2回目	3回目	3回目	3回目	2回目	2回目
健診の受診頻度		年一回					
受診する理由		学校定期健診診断		会社定期健診診断		健康維持	
印象に残った観光コンテンツの順位	1位	南三陸311メモリアル	キツネ村	仙台市内散策	陶芸体験	陶芸体験	仙台市内散策
	2位	キツネ村	仙台市内散策	陶芸体験	キツネ村	キツネ村	陶芸体験
	3位	陶芸体験	陶芸体験	キツネ村	仙台市内散策	クラフトショップもくもくハウス	キツネ村
	4位	クラフトショップもくもくハウス	クラフトショップもくもくハウス	白石城	白石城	奥州柳津虚空藏尊	白石城
	5位	白石城	白石城	南三陸311メモリアル	南三陸町震災復興祈念公園	白石城	南三陸311メモリアル
	6位	仙台市内散策	奥州柳津虚空藏尊	南三陸町震災復興祈念公園	南三陸311メモリアル	南三陸311メモリアル	南三陸町震災復興祈念公園
	7位	南三陸町震災復興祈念公園	南三陸町震災復興祈念公園	クラフトショップもくもくハウス	クラフトショップもくもくハウス	南三陸町震災復興祈念公園	クラフトショップもくもくハウス
	8位	奥州柳津虚空藏尊	南三陸311メモリアル	奥州柳津虚空藏尊	奥州柳津虚空藏尊	- (検診受診者であるため仙台市内散策を行っていない)	奥州柳津虚空藏尊

宮城の自然景色、伝統文化及び食事が高く評価されたが、体験項目や買い物、写真撮影の場所を増やしてほしいといった改善点の意見があった

【宮城県】FAMツアー実施後のアンケート回答一部抜粋 (2/2)

	年代	宮城へのイメージ	移動への感想	食事への感想	滞在プランの改善点
参加者1	10代以下	<ul style="list-style-type: none"> キツネ村が面白い 	<ul style="list-style-type: none"> まあまあ 	<ul style="list-style-type: none"> 好き 	<ul style="list-style-type: none"> なし
参加者2	10代	<ul style="list-style-type: none"> 景色がきれい 静かである 気温がいい 	<ul style="list-style-type: none"> 専用車が広くて快適だ 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい 分量がちょうどいい 	<ul style="list-style-type: none"> 海辺の体験を増やしてほしい
参加者3	40代	<ul style="list-style-type: none"> 景色がきれい 歴史的文化が深い 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線で来るルートが複雑だ 専用車で移動が便利だ 	<ul style="list-style-type: none"> 独特な郷土料理がある 	<ul style="list-style-type: none"> 検診の開始時間を早めてほしい 買い物できる場所と写真撮影のスポットが欲しい 宿泊施設がとても特徴的で、それをもとにリラクゼーション体験を増やしてほしい
参加者4	40代	<ul style="list-style-type: none"> 景色がきれい 日本文化を体験できる 	<ul style="list-style-type: none"> 非常に快適だ 	<ul style="list-style-type: none"> 分量も食事が出るまでの時間がちょうどいい 独特な郷土料理がある おいしい 	<ul style="list-style-type: none"> カモメの餌やり体験とキツネ抱っこ体験できず残念だ 白石城、南三陸311メモリアルに体験項目があるといい
参加者5	60代	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な文化を体験できる 環境がきれい サービスがいい 	<ul style="list-style-type: none"> 仙台に来るまで時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 食べやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 検診中空腹の時間が長すぎる 環境及びサービスがよかった 地元の歴史的な名所に行きたい
参加者6	60代	<ul style="list-style-type: none"> 景色がきれい 環境がきれい 	<ul style="list-style-type: none"> 東京の空港から仙台まで時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 快適である 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の特徴があるお土産屋に行きたい

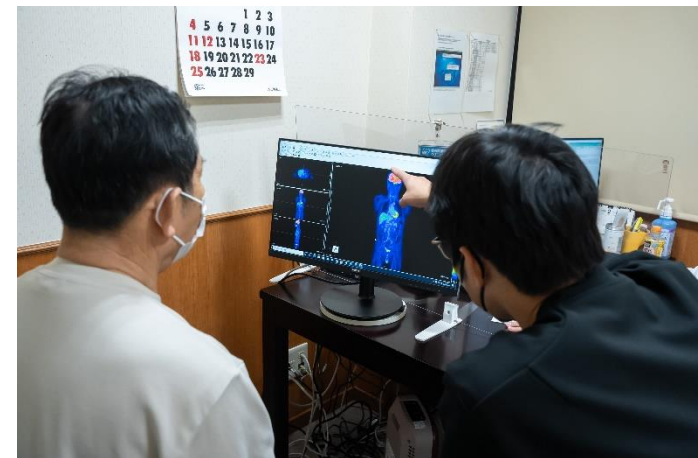
宿泊先や観光コンテンツを撮影し、FAMツアーの写真や動画と併せて医療と観光を組合せた日本語及び中国語の滞在プランのPR動画を制作した

【宮城県】PR動画の概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> 医療と観光の滞在プランを紹介するため 今後のプロモーションのため
言語	<ul style="list-style-type: none"> 中国語 日本語
再生時間	01:54
素材	<ul style="list-style-type: none"> FAMツアーの写真・動画 仙台画像検診クリニック、キツネ村、万風窯 宮城創生DMO所有する写真 白石川堤一目千本桜、樹氷 実地撮影した写真・動画 仙台駅、東北大学、旅館三治郎、白石城、武家屋敷、南三陸観洋ホテル、南三陸311メモリアル、南三陸町震災復興祈念公園
掲載先	<ul style="list-style-type: none"> RED (http://xhslink.com/SDWRcD) 宮城創生DMO公式YouTube 【中国語】https://youtu.be/L5OjVJ0Vttc 【日本語】https://youtu.be/4AXLkrMJXyw



宮城創生DMO素材：白石川堤一目千本桜



FAMツアー写真素材：仙台画像検診クリニック

中国で人気があるSNSのREDでプロモーションを実施し、6名のインフルエンサーが宮城の医療と観光を組合せた記事や動画を投稿した

【宮城県】RED投稿概要

掲載媒体	<ul style="list-style-type: none"> RED
掲載目的	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県の医療観光滞在プランの認知度を上げる 今後の販売につなげる
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> PR記事 PR動画
素材	<ul style="list-style-type: none"> FAMツアー写真、動画 PR動画
掲載時期	<ul style="list-style-type: none"> 2024年2月下旬～

動画投稿画面



【宮城県】RED投稿結果 2024.03.15時点

アカウント名	投稿形式	フォロワー数	掲載リンク	閲覧数	いいね数	お気に入り数	コメント数	コメント抜粋 (日本語訳)
桜花肉肉丸	記事	34,000	http://xhslink.com/YFAGpC	7,322	53	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 詳しい 行きたい 仙台がとてもきれい 親と一緒に旅行する時に必要だ どうやって予約すればいいか 日本の医療のレベルが高い 費用はいくらか 4月から羽生結弦の聖地巡礼したいがおすすめルートがある 温泉旅館はどうか 仙台は何度でも訪ねてみたい場所だ。快適で居心地がいい
抹茶理奈子		6,177	http://xhslink.com/WndvqC	9,121	80	37	12	
星矢pro		30,000	http://xhslink.com/ZHrw2C	6,629	50	1	8	
梨渦浅浅		11,000	http://xhslink.com/UtME7C	3,927	28	5	3	
比卡超claire		15,000	http://xhslink.com/28B5ZC	4,126	32	20	27	
小迷糊旅行记	動画	29,000	http://xhslink.com/SDWRcD	4,351	39	8	8	

FAMツアー参加者の意見や感想を反映させ、滞在プランのパンフレットを作成した

【宮城県】滞在プランチラシ

番号	日本語訳
1	日本ハイエンド検診及び宮城の絶景
2	魯迅先生が留学し医学を勉強していた仙台で家族と忘れられない健康の旅をしよう
3	ディープな日本を楽しもう！インスタ映えスポットを探そう
4	忘れられない健康の旅
5	モデルコース <ul style="list-style-type: none"> 北京/上海→仙台空港 受診者検診/家族仙台市内自由行動 キツネ村/白石城/万風窯陶芸体験 南三陸商店街/311メモリアル 仙台アウトレット買い物/新幹線で東京へ移動
6	検診の紹介
7	クリニック紹介 仙台画像健康診断センターは、PET/CTを主な検査手段とする総合健康診断機関です。最先端の装置 MRI 及び PET (陽電子放出断層撮影) 技術機器を使用することで、がんを早期に発見し、治療することができます。充実した画像診断技術と経験豊富な医師により病変の早期発見が可能です。JR仙台駅からタクシーでわずか5分と交通の便が非常に良いです。健康診断項目と具体的な手順：右下のWeChatでご相談ください

番号	日本語訳
8	参考価格 50万円/人 (検診受診者) 40万円/人 (検診受診者以外)
9	連絡先 WeChat ID: shukenjun



日本国内の空港からの送迎用ハイヤーを利用する中国人、台湾人観光客を対象としたプロモーションとして、車内に滞在プランのチラシを配布し乗客に自由に閲覧して頂いている

【宮城県】ハイヤーパンフレット配布

実施の理由	<ul style="list-style-type: none"> 既に日本に興味を持っている中国人、台湾人旅行者に直接アピールできる 日本に到着して最初の接点であるため興味を持たれやすい
提携企業	日辰国際株式会社
配布期間	2024年2月23日-2024年3月24日
配布車両台数	ハイヤー 30台
1車配布部数	10部 (なくなり次第補充する)
総配布部数	300部
手元残部数 (2024.3.23時点)	113部
問合せ状況	車中に乗客がチラシについて運転手に質問し、その後ハイヤー会社に数件問合せが入っている

車内配布様子



印刷されたチラシ



旅館三治郎では主にフロントでポケットクが利用され、翻訳精度が高く、スマホより便利である点で評価されている。一方、言語検索が難しく、会話方式で利用できない課題がある

【宮城県】ポケットク実証：アンケート回答 (旅館三治郎)

利用日	2/29~3/3	-	3月2日
利用言語	<ul style="list-style-type: none"> 中国語 (繁体) 韓国語 英語 	<ul style="list-style-type: none"> 中国語 (繁体字) 英語など 	中国語
利用場所	<ul style="list-style-type: none"> フロント 売店 	フロント	フロント
具体的なコミュニケーション内容	<ul style="list-style-type: none"> チェックインの案内 館内の説明 接客の対応 	<ul style="list-style-type: none"> チェックイン・チェックアウト 館内の案内やお風呂のご利用方法など バス停留所の説明やタクシーの手配など 	お風呂の案内等
利用することによるメリット	非常に 翻訳の精度が高い ので、安心して使用できる	コミュニケーションがとれてチェックインなどが スムーズにできて良かった	外国語を話すことができない為に重宝します
利用する際の課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> 会話方式で使用できると良い。 自動で言語の認識ができれば良い 	英語や中国語などの言語検索は問題ないが、 それ以外の言語は検索が大変でした 。できれば喋って頂いて言語が検索できると助かります	特になし
今後継続利用を希望するか	インバウンド需要が高まる中、是非継続利用を 希望したい	とても便利でした。 スマホなどのアプリと比べて使いやすく良かった です。 継続を希望します	できれば継続したい



旅館三治郎

ポケットクの実証は、白石城や仙台中央タクシーでも実施した

FAMツアーを実施した結果、中国と日本の検診の違いや日本の強みをよりPRすることの必要性が明確になった

【宮城県】今後の展望と課題

今年度事業で得られた成果

今後への示唆

国内連携体制



- 医療機関、自治体、観光事業者、販売業者等各事業関係者で協議会を開催し、滞在プランについて意見交換を行うことができた
- 医療インバウンドや医療通訳に関心のある地域の人材に研修受講の機会を提供できた

- 宮城創生DMOを中心とした協議の場を継続させ、医療インバウンドへの取組を持続させることが必要である
- 医療インバウンドや医療通訳に関心のある人材のスキルアップや実践の場を提供する必要がある

滞在プラン造成・販売



- FAMツアーを実施し、宮城の旅を体験していただきくことで、検診受診者やその家族のニーズを理解することができた
- FAMツアー時に撮影した写真を活用し、パンフレットや動画等のプロモーションマテリアルを制作することができた

- 中国でもMRIやCTの撮影は可能になっているため、日本の検診の差別化や、日本の検診の強みをPRすることの必要性が明確になった
- 地方で検診を受けるきっかけづくりが重要である
- ターゲット国・ターゲット層 (例：中国・ファミリー層) に合わせたアピールが必要である

海外連携体制



- 北京の展示会の出展を通して中国の健康管理会社や医療渡航支援会社とのネットワークを拡充することができた

- 宮城の認知度向上に向けて海外の旅行会社や医療渡航支援企業に宮城の魅力を更にPRすることが求められる

2.3 長野県松本市： 「信州・松本発のウェルネスツーリズム」推進委員会

長野県松本市では、人間・体力ドックと地域の特別なウェルネスリソースを組合せた滞在プランの造成・販売を目指した

【長野県松本市】事業概要

背景と概要

- 相澤病院はこれまで、訪日外国人向けに一泊二日の人間ドックを、最寄りホテルのみとパッケージ化して販売してきた
- 受診者は人間ドックが主目的であったため、地域観光への連携が不足していた
- 本事業では、人間ドックのみならず、松本市を中心としたウェルネスリソースを提供することを目指す

目標

- 医療・観光を組合せた**プラン造成・販売**
- 人間・体力ドックと観光を組合せたウェルネスツーリズムの推進と地域活性による関係人口の増加

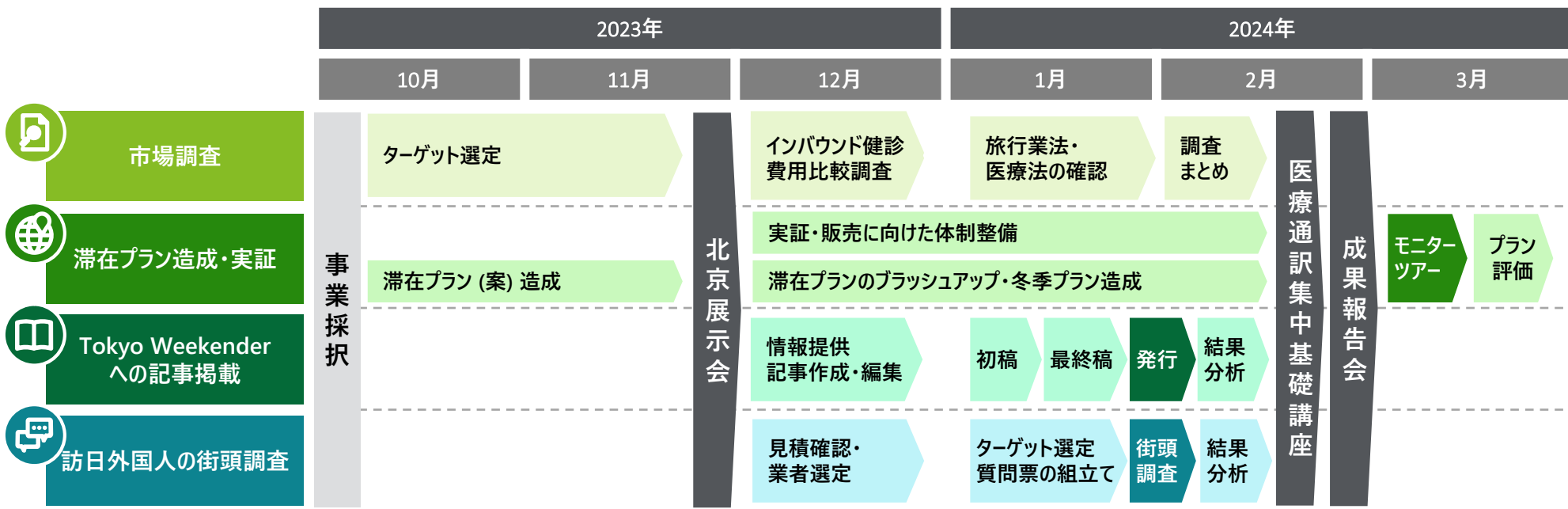
想定ターゲット

ターゲット国：**中国**
 → 相澤病院の健診受診実績、長野県・松本市の観光動向、既存の海外連携体制を踏まえ設定

項目		団体名	役割
実施団体	医療	社会医療法人財団 慈泉会	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の事務局 人間・体力ドック等の医療資源を提供
		扉ホールディングス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊、観光、飲食、交通、販売、ランドオペレーティング
	観光	株式会社 佳誠	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊、観光、飲食、交通、販売、ランドオペレーティング
		羽田未来総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンテンツ開発企画・誘客
		ホテルブエナビスタ	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック受診中の宿泊
関係団体	行政	松本市	<ul style="list-style-type: none"> 観光プロモーション課からの方針・知見共有
		一般社団法人 松本市コンベンション協会	<ul style="list-style-type: none"> 松本市の訪日外国人対応経験からの知見共有
		一般社団法人 松本市医師会	<ul style="list-style-type: none"> 医療・観光を組合せる活動の容認
	渡航支援	海外医療渡航支援企業	<ul style="list-style-type: none"> 滞在プランのプロモーション・販売

本年度事業の主な取組として、市場調査、滞在プランの造成・実証、Tokyo Weekenderへの記事掲載、訪日外国人の街頭調査が挙げられた

【長野県松本市】事業実施のスケジュール・概要



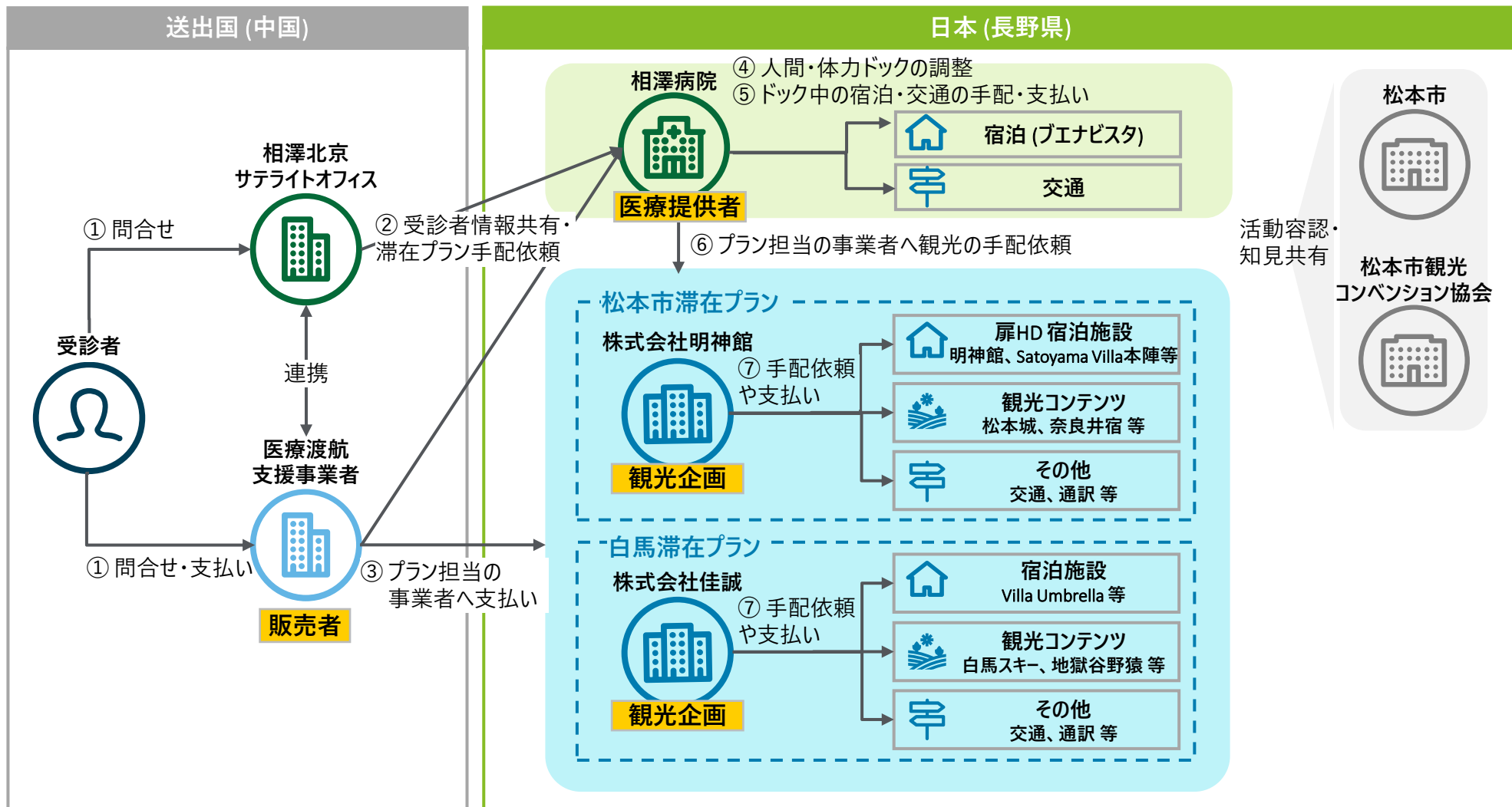
【各取組の概要】

- 市場調査** ターゲット選定のための健診受診実績の分析や外国人旅行者の動向調査、価格検討のためのインバウンド健診の価格比較、実販売の際に重要となる医療法・旅行業法等の法令の整理・確認を行った
- 滞在プラン造成・実証** 医療・観光を組合せた滞在プランの造成、受入れ体制の整備、モニターツアーによる実証を行った
- Tokyo Weekenderへの記事掲載** 外国人富裕層向け雑誌で長野県をベースとした人間ドック・観光を組合せた滞在プランを紹介し、プロモーション・販路確保を行うとともに地域ブランディングを強化した
- 訪日外国人の街頭調査** プロモーションや販売に役立てるため、松本市を訪れた訪日外国人を対象に滞在プランについての意見を集めた

受診者受入れ時は相澤病院が問合せ・申込受付の主要窓口となり、健診の調整を行うと同時に、観光事業者へ宿泊・観光等の手配を依頼する

【長野県松本市】健診プラン受入れ体制図 (患者フロー)

■:医療 ■:観光 ■:行政



“Know Yourself, Heal Yourself ～自身の健康を知り、長野松本の自然・文化・歴史に触れ自身を癒す旅～” をテーマに季節や顧客のニーズに応じた複数の滞在プランを造成した

【長野県松本市】医療・観光を組合せた滞在プラン例



インバウンド健診受診を予定していた中国人2名に、体力ドックや観光コンテンツの一部をモニターツアーで体験いただき、フィードバックをもとに滞在プランの改善策を検討した

【長野県松本市】モニター実証の概要



<モニターツアー概要>



■ 実施時期

- 2月27日～3月2日

■ 参加者

- 50代女性 2名
- 中国人 (香港)
- 投資家 (富裕層)
- 相澤健康センターの人間ドック受診経験あり

■ ニーズ

- 観光を楽しみたいが、身体を動かすアクティビティには興味がない
- 持病のフォローアップもしたい



モニター実証では参加者の健康状態やニーズに応じた観光コンテンツを組合せて提供し、高評価を得た

【長野県松本市】モニター実証の様子

相澤病院 総合健診



- 相澤病院 国際課の看護師が事前説明・健診中の同行を行い、安心して受診できるよう対応した
- 一人は持病のフォローアップも実施した

扉温泉 明神館



- 健診後、扉HD 明神館に宿泊し、食事・温泉でリフレッシュした
- ホテルでの体験に関する評価について、5段階中「5.とても満足」と回答を得られた

奈良井宿訪問



- 日本の伝統的建造物が並ぶ奈良井宿を散策
- 町並みの歴史について学び、日本食を堪能した

酒蔵見学



- 長野県の豊かな水源や環境の下で日本酒・ワインを仕込む酒造を見学

モニター実証参加者に対しインタビューを行い、人間・体カドック及び一部の観光コンテンツに関するフィードバックを踏まえて滞在プランにおける検討事項を整理した

【長野県松本市】モニター実証インタビュー結果

フィードバック (一部抜粋)

人間ドック

- 医療従事者の対応・説明が非常に良く、安心して受診できた。前日の説明で全体の流れを把握することができて良かった
- 中国国内では受診者が多く混雑していたが、相澤病院では秩序良く保たれている。個室で休憩することもできて良かった
- **中国では胃カメラに鎮静剤等の全身麻酔が使用されるが、日本は主に局所麻酔のみである。**知合いの中国人は、鎮静剤が使用されない不安から胃カメラを避けた
- PET/CTやMRIを受ける際、**閉所恐怖症に適応するため事前準備**をしたため、無事に検査を受けることができた
- **健診内容が充実しているため、この価格は妥当と受止められる。**しかし、**健診経験がない人には高額**に感じられると思う。特に中国では、健診は治療ではなく高い費用を払ってまで受ける必要がないと考える人もまだ多い

体カドック

- 当初、ジムで行われるものと考えたため興味がなく、時間が長すぎると感じていたが、実際に体験すると姿勢の改善が実感でき、結果に非常に満足している
- ジムのイメージが強いので、**医療的な要素を取入れ宣伝した方が良い**と思う

観光

- 奈良井宿の散策や寺・墓地を訪れる体験は非常に良かった。健診を受けた直後だったため、**死生観について考える機会になった**
- **長野の観光名所はあまり知らない**ので、もっと紹介してほしい

その他

- 健診で異常が発見されると、その後の観光を楽しむことが難しくなるため、**観光の後に健診を実施すべきだ**と思う

検討事項 (案)

検査の不安軽減

- 海外での検査実施方法や検査に対する考え方の違いを理解し、**日本でも不安なく検査を受けられるよう対応策を用意する**
例：胃カメラ時の麻酔オプション、PET/CTやMRIの見学・模擬体験、カウンセリング等

価格への理解

- それぞれの検査項目の内容及び重要性について情報発信し、**価格の適正に関する理解促進**に努める
- 本人のニーズや希望価格に応じて、**健診項目を柔軟に組合せられるシステムを導入**する

体カドックのPR

- **医療要素を強調**し、ジムでは得られない健康上のメリットを発信する
- キャンペーン等を通じた**体験の促進**

観光情報の発信

- インバウンド健診用HP等を活用した**観光情報、四季折々の魅力の発信**

滞在プランのスケジュール調整

- 本人のニーズ・予定に応じてプラン内の**スケジュール調整を可能**とする

造成した滞在プランのプロモーションとして、富裕層外国人向け雑誌 Tokyo Weekender のウェルネス特集号 (2024年2月9日発行) に記事を掲載した

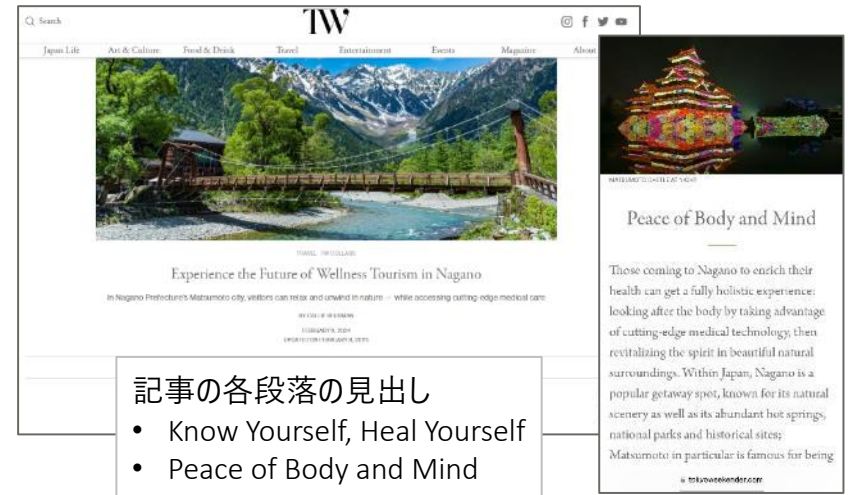
【長野県松本市】Tokyo Weekender への記事掲載

発行号	Tokyo Weekender 2024年 1/2 月 合併号 Health, Fitness & Self Improvement 特集
発行日	2024年2月9日
目的	<ul style="list-style-type: none"> 医療・観光を組合せた滞在プラン例を雑誌で紹介することでプロモーション・販路開拓に繋げる 長野県松本市の医療・観光の魅力を発信し、地域ブランディングを強化する
ターゲット	訪日外国人旅行者 (富裕層)、旅行代理店 等 <ul style="list-style-type: none"> 配本先例：高級ホテル・旅館、空港、観光案内所 メディア発信例： <ul style="list-style-type: none"> 海外向けニュースレター (海外旅行代理店 約500社、海外メディア約600社、読者会員2,500名) 公式HP (月間PV約30万) Facebook (フォロワー約30万人) Instagram (フォロワー約14万人)
訴求メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> Know Yourself, Heal Yourself (自分を知り・癒す) Peace of Body and Mind (心身の平和) Rest and Rejuvenate (休息と若返り)
コンテンツ概要	<ul style="list-style-type: none"> 長野県松本市の紹介 医療・観光を組合せた滞在プランの紹介 問合せ先等

【紙面イメージ】 The Future of Wellness Tourism in Nagano



【Online Media イメージ】



Tokyo Weekender のオンライン記事から、相澤病院インバウンド用問合せ先、松本市の観光ウェブサイトやコンベンション協会公式YouTubeを確認することができる

【長野県松本市】Tokyo Weekender 記事掲載のオンラインコンテンツ

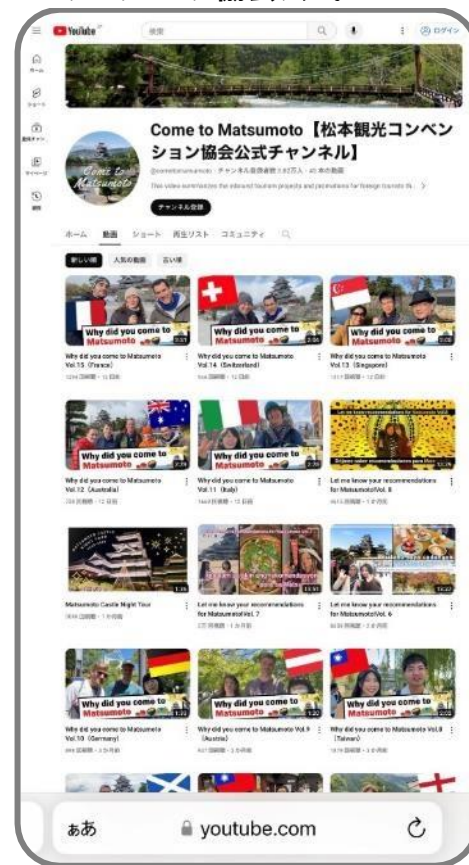
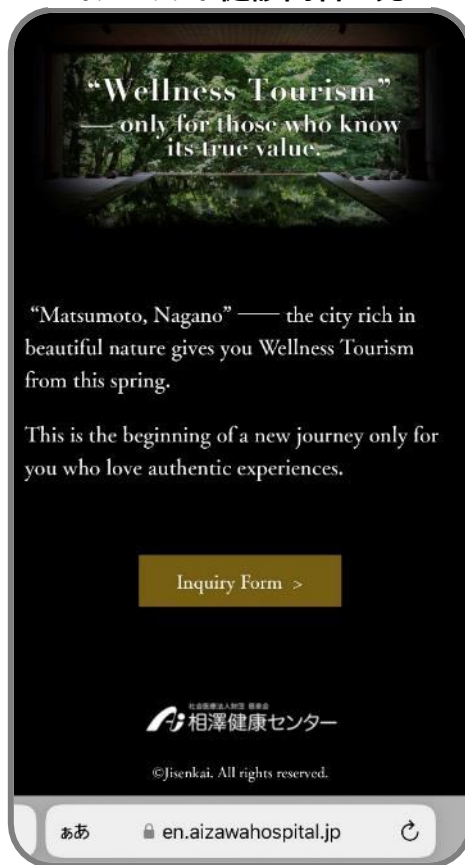
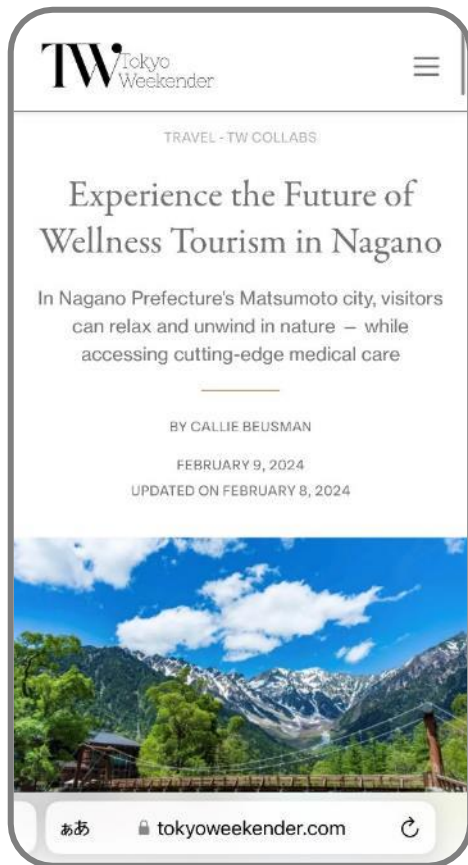
—Tokyo Weekender—

掲載リンク

① 相澤病院
インバウンド健診問合せ先

② 松本市観光HP

③ 松本市観光
コンベンション協会公式YouTube



出所： <https://www.tokyoweekender.com/tw-collabs/wellness-tourism-nagano-aizawa-hospital/>、 <https://en.aizawahospital.jp/wellnesstourism/>、

45 <https://visitmatsumoto.com/en/>、 <https://www.youtube.com/@cometomatsumoto/videos>

2024年2月中旬に松本城で訪日外国人を対象とした街頭調査を行い、医療・観光を組合せた滞在プランに関する意見を集めた

【長野県松本市】訪日外国人の街頭調査の概要

実施内容	医療・観光を組合せた滞在プランに関する街頭での聞き取り調査
目的	<ul style="list-style-type: none"> 松本市の外国人観光客の属性や訪問動機を確認し、滞在プランに対するフィードバックを収集する 収集した情報を基に、効果的なPRと販売戦略に繋げる
実施期間	2024年2月15日(木)～16日(金)
実施言語	英語・中国語
実施場所	松本城
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 長野県松本市を訪れた外国人旅行者 年齢40歳～65歳程度(健診受診の対象年齢) 男女比半々を想定
構成	<ul style="list-style-type: none"> 第1部：基本情報・訪問動機等の確認 第2部：滞在プランに関する質問
サンプル目標	100名

街頭調査の様子



- 調査員が資料を用いて医療・観光を組合せた滞在プランの概要を説明しながら、ヒアリングを行いアンケート用紙に代筆した

調査結果は、例えば短めの健診・体力ドックプランと人気観光要素を組合せ来日前の旅行計画段階で情報提供することで、観光客の集客を拡大するため検討資料となった

【長野県松本市】訪日外国人の街頭調査－総括

分類		回答結果
基本情報	訪日回数	→ 回答者の30%以上は「5回以上」来日経験があり、その大半はアジア圏出身者であった
	来訪目的	→ 回答者の98%は来訪目的が「観光・レジャー」であった
	滞在期間	→ 旅程の大半は宿泊を伴い、 <u>アジア圏出身者は「3泊4日」が最多</u> 、 <u>欧米・オセアニア出身者は「4泊5日以上」が最多</u> であった
	来訪動機	→ 「 <u>家族・友人・知人からの勧め</u> 」が最多であり、続いて「 <u>旅行サイト・チラシ</u> 」や「 <u>SNS</u> 」が挙げられていた
	手配方法	→ <u>アジア圏出身者はパッケージツアーへの手配と自己手配が約半々</u> 、 <u>欧米・オセアニア圏出身者はほとんど自己手配</u> であった
	同伴者	→ 回答者の80%以上は家族や配偶者・パートナーと共に来訪していた
医療	健診	→ 海外で健康診断を受ける場合、 <u>アジア圏出身者は検査内容</u> （「全身検査」「内視鏡検査（胃・大腸・両方）」「CT、MRI、PET-CT等の高度機器による精密検査・がん検査」等）を重視し、 <u>欧米・オセアニア圏出身者は環境</u> （「外国語対応」「施設がきれいであること」等）を重視する傾向にあった → 回答者の約半数は、 <u>健康維持方法として定期的に健診を受診</u> していた → 松本市にある相澤病院の健診を受診してみたいと回答した方は3名であり、 <u>主な理由として「日本の医療への関心」</u> に関するものが挙げられていた。 <u>関心がないと回答した人の多くは「自国で受診を希望する」</u> 又は「 <u>旅行中は他の予定があるため</u> 」等旅行のスケジュールに関する理由が多かった
	体力ドック	→ <u>体力ドックを受診してみたいと回答した方は16名</u> であり、 <u>主な理由として「健康や体力維持のためのアドバイスを受けたい」</u> 等であった。 <u>関心がないと回答した人の多くは健診同様、「自国で受診を希望する」</u> 又は「 <u>旅行中は他の予定があるため</u> 」等旅行のスケジュールに関する理由が多かった
観光	→ 回答者の今回の旅行での訪問の観光スポットは「 <u>白馬</u> 」「 <u>スキー場</u> 」「 <u>地獄谷野猿公苑</u> 」「 <u>温泉</u> 」「 <u>善光寺</u> 」が上位であった → 回答者の過半数はウェルネスに特化した旅行で「 <u>温泉</u> 」「 <u>登山・トレッキング</u> 」「 <u>食事・お酒</u> 」「 <u>自然・景色</u> 」「 <u>冬のアクティビティ</u> 」を求めており、特に自然へ関心が高かった	
滞在プラン	→ 滞在プランのうち、健診・人間ドックにかけたい日数は「 <u>半日</u> 」「 <u>1日</u> 」が約半数の回答を占めていた → <u>滞在プランを利用したいと回答した方は18名</u> であり、 <u>主な理由として「医療・観光の組合せへの関心」</u> が多かった。 <u>関心がないと回答した人の多くは「健診は自国で受診する」</u> 等の理由が多かった → <u>健診や体力ドック単独での案内と比較して、観光要素を組合せた滞在プランへの関心度の方が高かった</u>	

本年度事業で造成した滞在プランやプロモーションを活かし、来年度以降問合せから実販売に繋げるため関係者間の役割分担をより明確にする必要がある

【長野県松本市】今後の展望と課題

今年度事業で得られた成果

今後への示唆

国内連携体制



- 滞在プランの実販売を見据えた受入れ体制整備を行うことで、関係団体の役割や収益構造上の課題を洗い出すことができた

- 関係団体の連携を取りまとめられる専任のファシリテーターの必要性 (本業との並行は困難)
- 関係団体が手数料等を通じて利益を得るためには価格設定の見直しが求められる

滞在プラン造成・販売



- これまではインバウンド人間ドックのみの販売であったが、長野県のウェルネスリソースを提供する複数の滞在プランを造成することができた
- 雑誌「Tokyo Weekender」を活用した新たなプロモーション・販路開拓方法を通じて、人間ドック・観光の予約に繋げることができた
- モニター実証や街頭調査を通じて、滞在プランの利点・改善点について幅広い洞察を取得

- 基本となる滞在プランを商品化し旅行会社を通じたプロモーションや実販売を行う必要がある
- 実販売にあたり、医療・観光ともに受入れキャパシティを確保する必要がある
- 健康に関心が高い富裕層への情報発信方法を検討する必要がある
- 旅行者が母国で旅行計画段階でのプロモーション等を通じて情報を提供する必要がある

海外連携体制



- 相澤北京サテライトオフィスと滞在プラン内容、連携体制、収益構造について協議ができた

- 海外医療渡航支援事業者や国内の外国人事業者を通じた集客の強化を図る必要がある

2.4 鹿児島県指宿市：メディポリス医学研究所

医療と観光の連携による訪日外国人の誘客に向けた地域の取組を推進するため、特別な観光コンテンツと医療の組合せによるインバウンド誘客のモデル構築を行った

【鹿児島県指宿市】事業概要

背景と概要

- メディポリス国際陽子線治療センターを中心に、「粒子線治療に親和性の高い観光コンテンツ又は特別な観光コンテンツを組合せたプラン造成」の取組を行うことを目的としている
- 一方で、外国人患者を長期間にわたり受入れる際、地域観光を活かしたと取組や観光事業者との連携不足が課題となっていた

目標

- 中長期目標として**外国人患者受入れ年間100人**
- ベトナム人の受入れ目標は、令和6年度7人、令和7年度14人、令和8年度21人、令和9年度30人

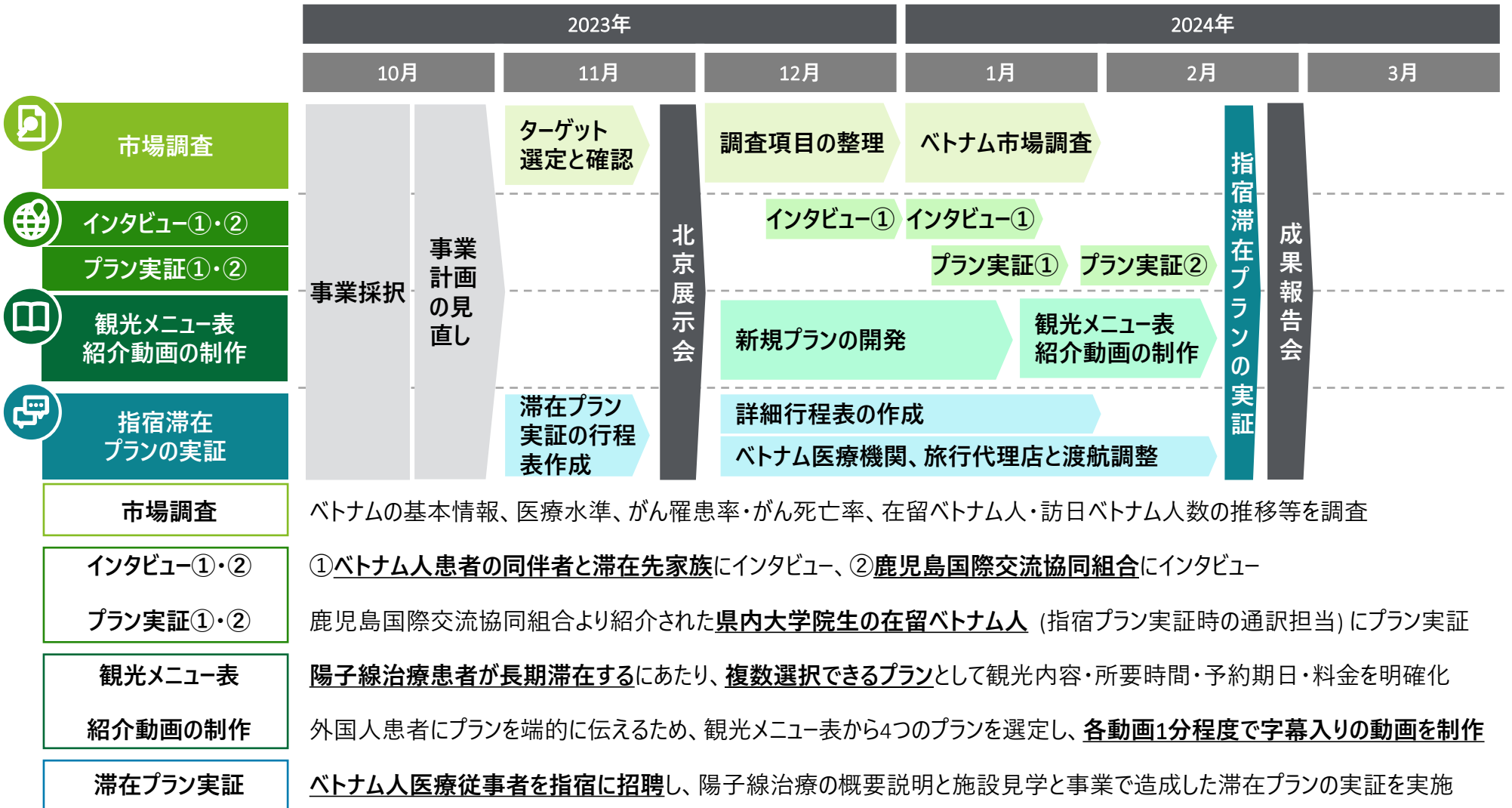
想定ターゲット

ターゲット国：ベトナム
 対象患者：ステージ1又は2の早期がん患者とその家族（滞在期間は約6週間）

項目		団体名	役割
実施団体	医療	メディポリス国際陽子線治療センター	陽子線治療の提供
	観光	<ul style="list-style-type: none"> • NPO法人指宿観光 & 体験の会 • 一般社団法人いぶすき観光デザイン • HOTEL フリージアなど 	<ul style="list-style-type: none"> • ランドオペレーター、滞在プランの販売窓口 • 観光コンテンツの企画、広告マテリアルの収集と制作 • 長期滞在中の宿泊先の提供
関係団体	行政	指宿市	指宿市の観光ビジョンの策定と受入れ体制の調整
	渡航支援	国内医療渡航支援企業	ベトナム人患者の渡航支援、患者紹介
	通訳	国際交流協同組合	滞在プランの体験時に通訳人材を派遣

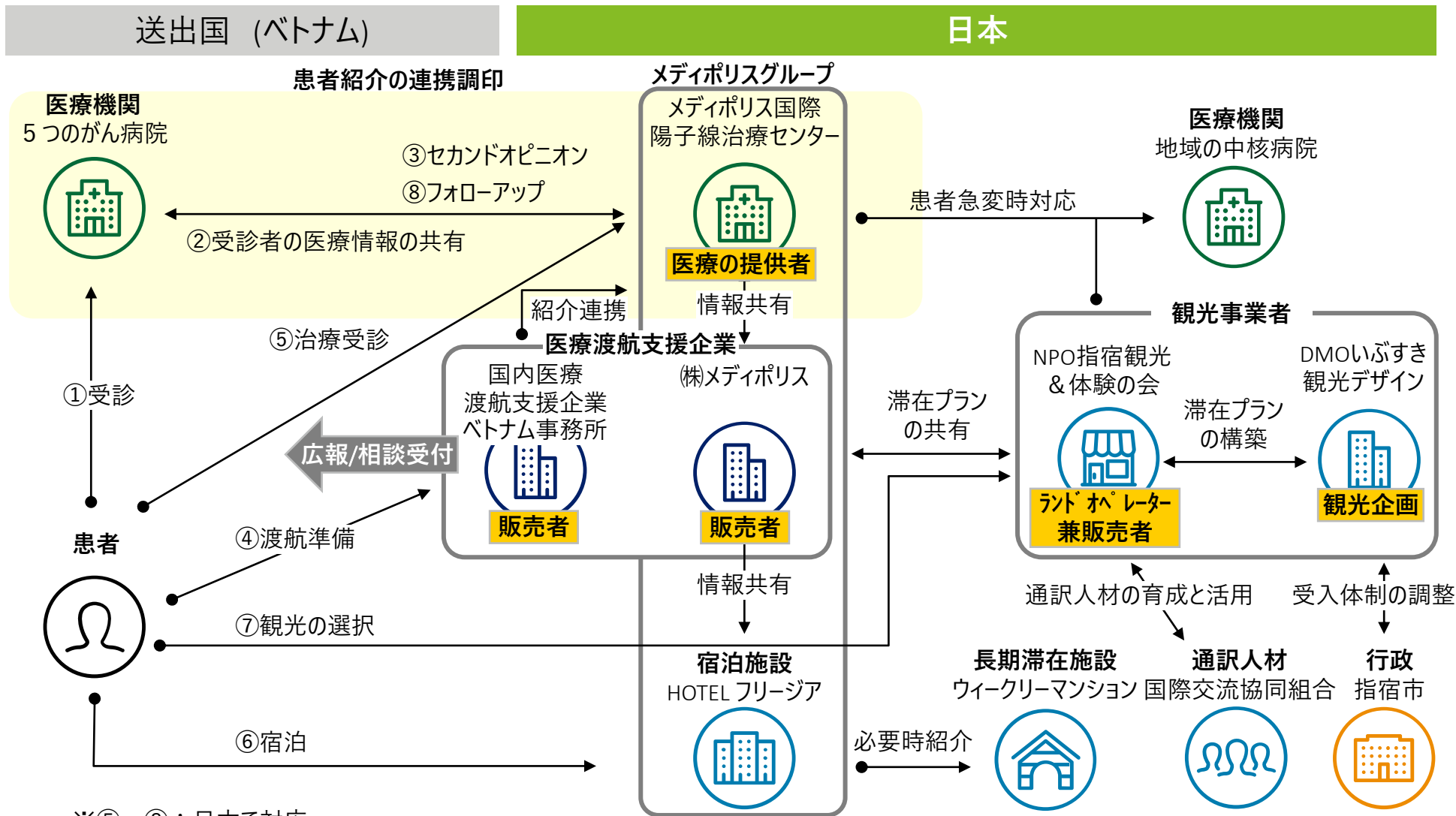
長期滞在プランの造成に向けて、ベトナム人患者の同伴者や在留ベトナム人への実証を踏まえ、観光メニュー表や紹介動画を制作し、ベトナム人医師への滞在プラン実証を実施した

【鹿児島県指宿市】事業実施スケジュール・概要



がん患者の送出国と日本の受入れ連携体制における「あるべき姿」は、両国の医療機関・渡航支援企業・観光事業者・行政の連携が重要である

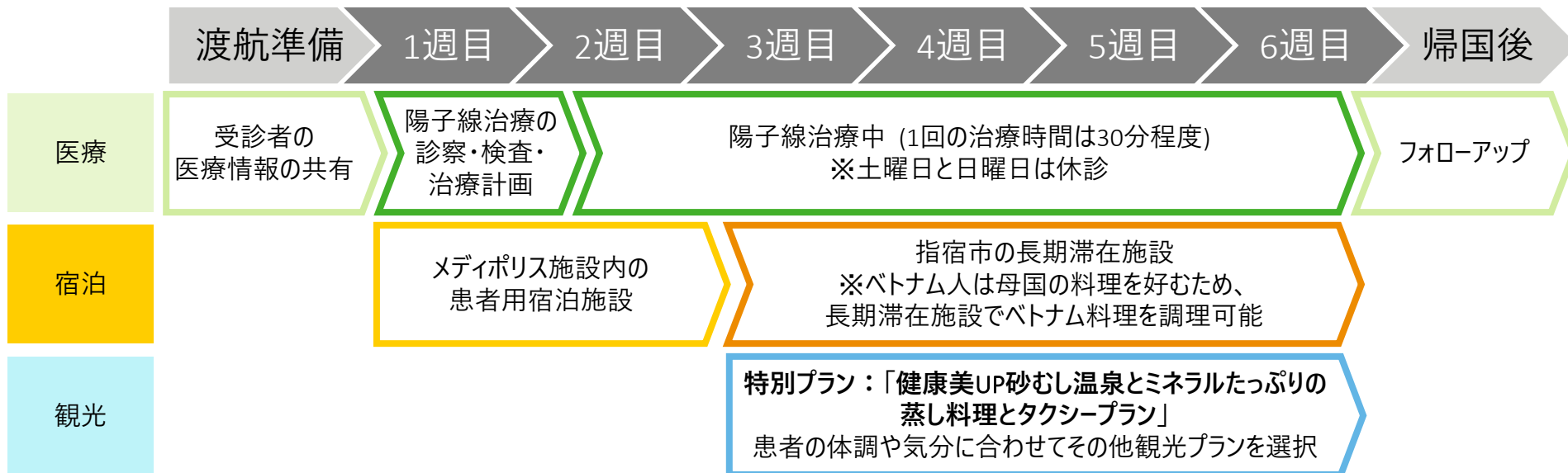
【鹿児島県指宿市】外国人患者受入れの連携体制



指宿に長期滞在するにあたり、陽子線治療患者に配慮した6週間の滞在プランを想定し、患者自身が体調に合わせて好きなタイミングで観光プランを選択できる

【鹿児島県指宿市】6週間の陽子線治療の長期滞在プラン：火山の恵み 自然のパワーを心身に浴びて

概要: 陽子線治療の長期滞在期間中、自然や温泉、食、あるいは指宿のホスピタリティあふれる方々と触れ合うことにより、心身ともに健全な状態を保つ



医療



宿泊

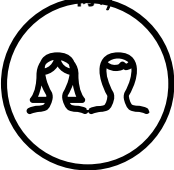



観光





長期滞在型のプラン造成を行うにあたり、実際にベトナム人患者家族と在留ベトナム人ネットワークの国際交流協同組合へインタビューを行い、滞在プランに意見を反映した

【鹿児島県指宿市】ベトナム人患者の同伴者と通訳者紹介団体へインタビュー

対象者	目的	実施方法	意見	課題	対応策
<p>メディポリスで治療したベトナム人の同伴者 (奥様)</p> 	<p>指宿での長期滞在時の課題や要望の抽出</p>	<p>インタビュー①</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メディポリス内の宿泊施設の利用を検討したが、<u>ベトナム料理の提供がないため、指宿在住のベトナム人の家に滞在した</u> • <u>治療が最優先のため、治療中での観光は考えていない</u>が治療後指宿市内の観光を希望 • 治療費500万円は、不満はない • 奥様は主人に指宿市内の病院で<u>健康診断を勧められ受診した</u> 	<p>ベトナム料理の提供が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • キッチン付きの<u>長期滞在施設を紹介</u>できるよう市内事業者と調整 • 市内のベトナム食品専門店の検索及び紹介
<p>鹿児島県国際交流協同組合 事務局長 ※日本人</p> 	<p>ベトナム語通訳の人材発掘</p>	<p>インタビュー②</p>	<p>【現状の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 東南アジアを中心に技能実習生の応募者を審査・採用・配置を行っている • 技能実習生の採用・健診・通院の際に通訳者として組合のネットワークを活用し、通訳者を適宜依頼している <p>【本事業への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本事業の指宿プラン実証時に、<u>通訳担当者を紹介</u> • 今後の患者受入れの際に、<u>安定的な通訳者の供給を行うよう調整</u> 	<p>通訳者の安定的な供給体制の構築が必要</p>	<p>通訳単価や<u>通訳者の手配方法を協議</u></p>

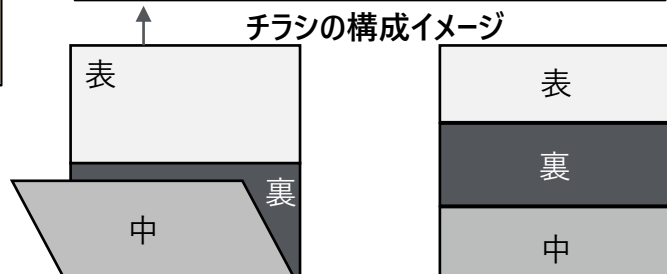
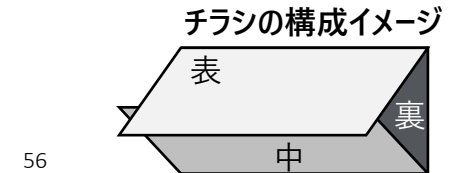
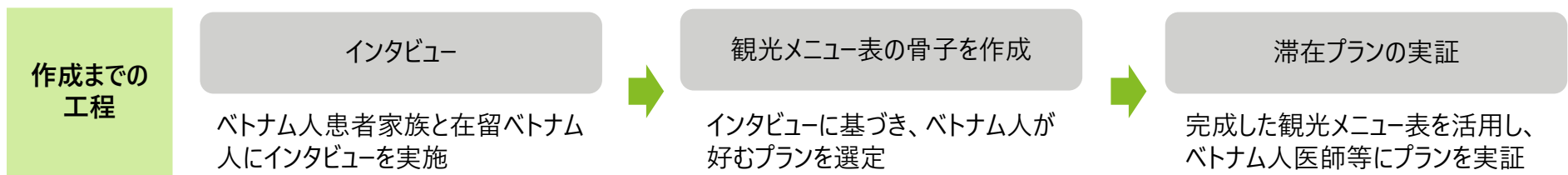
長期滞在型のプラン造成を行うにあたり、ベトナム人医師によるプラン実証時の通訳者である県内大学院生の在留ベトナム人に対して、プランの実証と通訳の事前練習会を実施した

【鹿児島県指宿市】ベトナム人患者の同伴者と通訳者紹介団体へインタビュー

対象者	目的	実施方法	意見	課題	対応策
<p>通訳担当の県内大学院生 在留ベトナム人</p> 	<p>プラン実証と プラン実証のための 通訳の事前練習</p>	<p>プラン実証 ①</p>	<p>【うなぎ温泉とスメ料理】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 天気に左右されず、内容やスメ料理は高評価 • ベトナムには火山がないため、蒸気が出る場所やスメ料理は初めての体験であった • 通訳を行うにあたり、鹿児島弁は話すことができず、高齢者が話す鹿児島弁は理解が困難  	<p>鹿児島弁の通訳が困難</p>	<p>ガイドがジェスチャーを交えた交流でお互いの意思疎通を図る</p>
		<p>プラン実証 ②</p>	<p>【かつお節工場と青隆寺】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 氷点下50度の冷蔵庫に入ることは苦手を通訳どころではなかった • 青隆寺の3万坪の日本庭園には驚愕した • ベトナムの宗教事情は無宗教 • 写経体験は漢字を知らないため、困難 • 瞑想体験は、茶室の雰囲気が高く、ゆっくりと過ごすことができる  	<p>ベトナム人の好みにあった観光案内の調整(漢字文化はないため、写経体験は困難)</p>	<p>青隆寺の日本庭園の散策と茶室での瞑想体験に変更</p>

多言語対応した観光メニュー表をA3縦の三つ折り仕様で制作し、特別プランを造成するとともに、プランの選択肢を増やし、観光内容・所要時間・予約期日・料金を明確にした

【鹿児島県指宿市】観光メニュー表と紹介動画の制作



観光メニュー表では伝わりにくい内容を外国人患者に端的に伝えるため、観光メニュー表から4つのプランを選定し、各1分程度で多言語対応した字幕入りの紹介動画を制作した

【鹿児島県指宿市】観光紹介動画の制作

鱈温泉・スメ料理



鯉節工場見学

※英語・中国語の動画あり



不動山 青隆寺



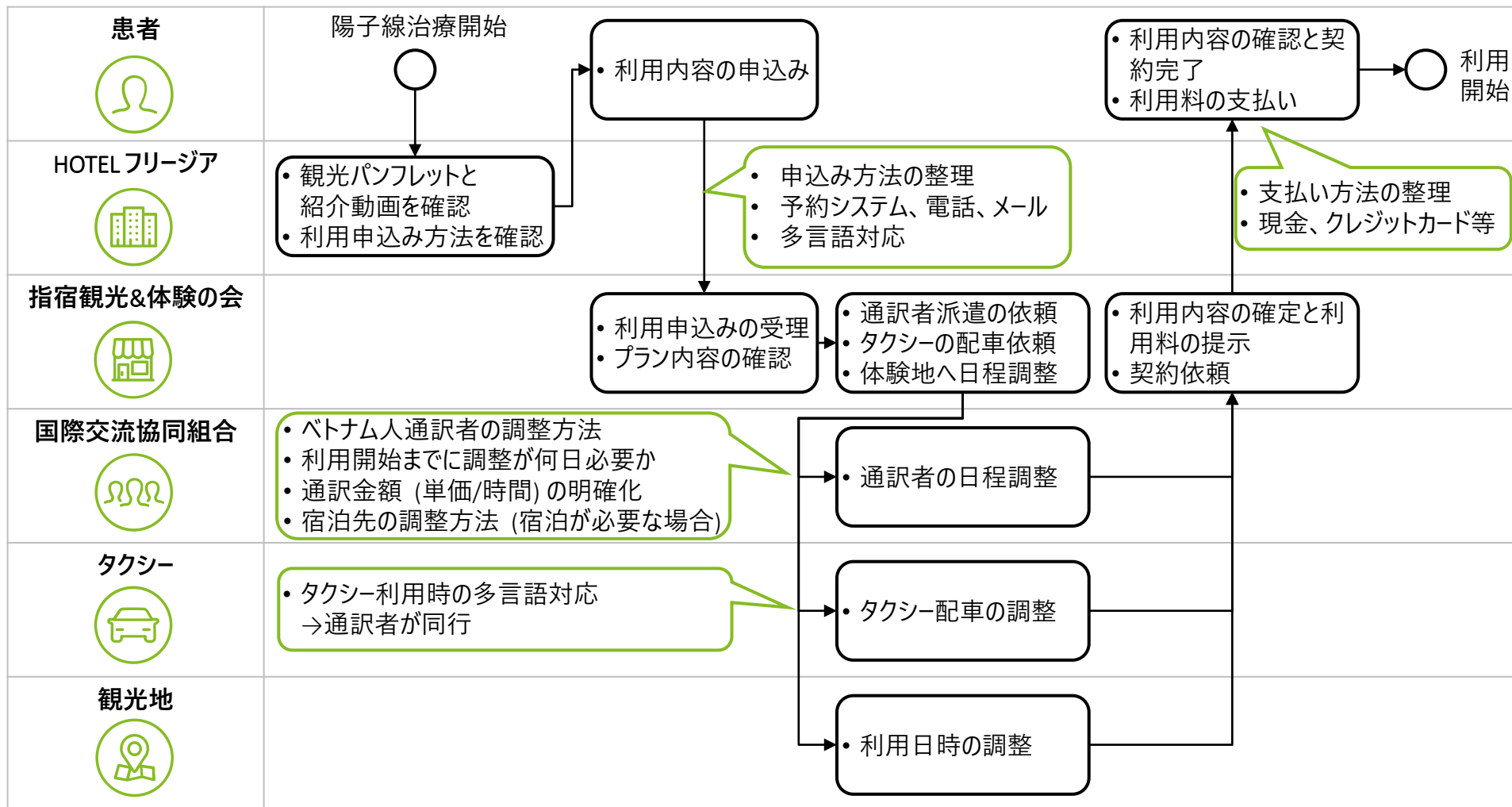
指宿長太郎焼窯元の陶芸体験



患者が指宿で長期滞在型のプランを利用するにあたり、下記のフローにより患者は観光を利用できるが、観光時の多言語対応、申込み方法、通訳者の調整が課題となっている

【鹿児島県指宿市】患者の観光利用フロー

: 現状のフロー
 : フローの課題



ベトナム人医療従事者を指宿に招聘し、陽子線治療の概要説明・施設見学・海外医療連携の説明や指宿の滞在プランの実証を行った

【鹿児島県指宿市】ベトナム人医療従事者による滞在プランの実証

■ 滞在プラン実証の目的

- ベトナム人がん患者の受入れを実現するために、日本とベトナムのがん専門医療機関間で連携を図る
- ベトナムにおける陽子線治療の認知向上のため、陽子線治療としての適用例などの啓発活動を実施する
- ポストコロナにおけるベトナムの医療渡航需要を把握する

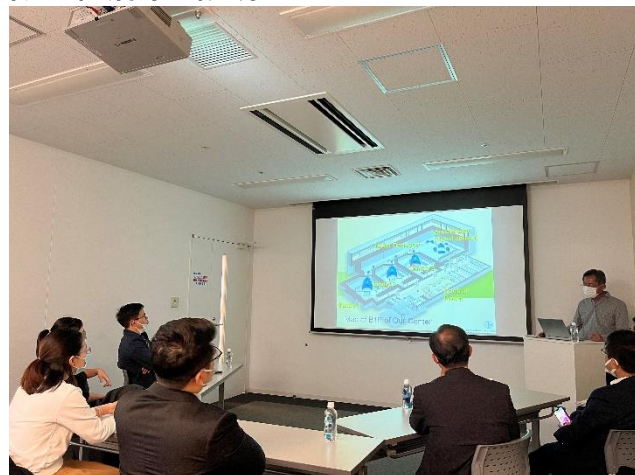
■	：陽子線治療関連
■	：滞在プラン実証関連
■	：プラン造成関連
■	：移動

日程	項目	内容	対応者
2/19	移動	・ベトナム→福岡空港→メディポリス (鹿児島県指宿市)	<ul style="list-style-type: none"> ・メディポリス ・JTB鹿児島支店
2/20	医学研修 10時間	【オリエンテーション】 ・事業主旨の説明、医療機関紹介、ベトナムの医療水準紹介、意見交換 【陽子線治療研修】 ・陽子線治療の概要説明、治療室見学、治療計画、海外医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳者 ・メディポリス ・トーマツ
2/21		【オリエンテーション】 ・関係者挨拶、指宿市紹介、ベトナムの文化事情説明 【滞在プランの実証】 ・指宿市内で長期滞在の外国人向け観光滞在プランの実証 ・外国人患者が利用する長期滞在アパートの見学	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿観光 & 体験の会 ・いぶすき観光デザイン ・観光通訳者 ・メディポリス ・トーマツ
2/22	最終評価 2時間	【事業評価】 ・ベトナム人医師1名/20分程度で一人ずつインタビュー調査 ・滞在プランを含めた事業評価シート記入、事前に配布した医療・観光文書の翻訳フィードバック	
2/23	移動	・メディポリス→福岡空港→ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ・メディポリス ・JTB鹿児島支店

ベトナム人医師に陽子線治療概要・治療室見学・治療計画・海外医療連携の説明を行い、陽子線治療の理解を深め、今後の患者紹介に向けて連携調印した

【鹿児島県指宿市】滞在プラン実証時の様子①陽子線治療の説明

陽子線治療の説明



- 陽子線治療の特徴、X線や重粒子線との違い、陽子線治療施設の建設費を説明した
- センター長と陽子線治療に関して意見交換を実施した

陽子線治療装置の見学①



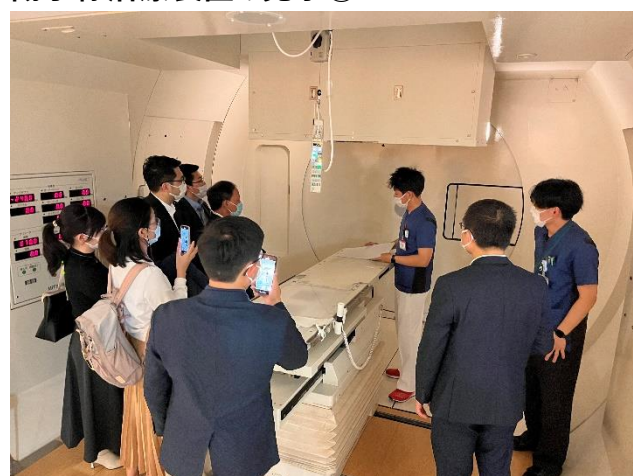
- 陽子線治療装置のシンクロトロンを見学した
- 装置のメンテナンス方法や仕組みを解説した

海外医療連携の説明



- 外国人患者がメディポリスで受診・治療・フォローアップをする際の基本的な流れを説明した
- 実際の外国人患者の事例を紹介した

陽子線治療装置の見学②



- 陽子線治療装置の操作方法や仕組みを説明した
- 実際に装置を動かし、治療のイメージを説明した

造成した長期滞在型の滞在プランをベトナム人医師6名に対して実証を行い、医師によるプランの評価と指宿におけるベトナム人患者の長期滞在イメージを共有した

【鹿児島県指宿市】滞在プラン実証時の様子②観光プランの実証

スメ料理の試食



- 温泉の蒸気で指宿の食材を蒸し、スメ料理として提供した
- ベトナム人医師たちが自分たちで、かつお節を削り、かつお節を使った味噌汁を試食した
- スメ料理の味は高評価であった

駅前ベトナム調味料店の見学



- 指宿駅前にオープンしたベトナムの食材や調味料を販売する売店に見学した
- インタビューに協力してくれた在留ベトナム人が運営している

うなぎ温泉の見学



- 指宿で唯一の単純硫黄泉の温泉施設を見学した
- 実際に入浴してみたいという意見もあった

長期滞在施設の見学



- 陽子線治療の長期滞在に合わせて、患者自身でベトナム料理を調理できる指宿市内の長期滞在施設を見学した
- 閑静な環境なため、もう少し賑やかで、富裕層向けの長期滞在施設も欲しいと意見があった

6名のベトナム人医師から今後の患者紹介に向けて、医療や観光に関するフィードバックを受け、広報手法や医療滞在ビザ、滞在中のサービスについて課題を整理した

【鹿児島県指宿市】ベトナム人医師への滞在プラン実証結果

医療と観光を組合せた指宿滞在プラン実証の満足度は、**最高評価**を得た

滞在プランのフィードバック	課題
<p>陽子線治療</p> <ul style="list-style-type: none"> 肺がんなど個別の症例に関してどれくらい効果があるのか深く知りたい 陽子線とX線の違う点を詳しく知りたく、操作方法など、どのように違うのか知りたい 患者紹介にあたり、今後、理解を深めるため具体的な症例を交えながら勉強会を開催してほしい 日本に患者を紹介する場合、医療滞在ビザの手続きに時間を要する上に、原則1回の入国に限り有効となっている（シンガポール等に紹介する場合、ビザは不要） 陽子線治療の人材育成方法を詳しく知りたい 	<p>ベトナムへの広報</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本からベトナムの病院に情報交換が少なく安心して患者を紹介できるか不安（シンガポール等では現地に事務所を設置し情報発信・相談を実施） 患者紹介にあたり、治療と滞在のプロセスをより明確化
<p>プラン実証</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療費用や観光費用は適切であった スメ料理はとても美味しいが、温泉の温度や成分が患者に影響がないか確認して欲しい ウィークリーマンションは長期滞在時にベトナム料理を自炊できるため良い。周りが静かなため、患者にとって寂しいかもしれない 長期滞在施設は複数の選択肢を準備し、治療を受ける患者にとってより良い環境を作りたい 青隆寺が一番、印象に残っている。患者にとってがん治療という不安な状態の中で、祈る環境があることは心身に良い影響を与える かつお節工場の見学も楽しく、ベトナム人はお土産をよく買うのでかつお節を購入できるのは良いプラン ベトナム語通訳人材の育成が必要。患者がホテルに宿泊する際に、英語では分からないことがある 	<p>医療滞在ビザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療滞在ビザの発行手続きが煩雑 医療滞在ビザが慢性疾患の患者に対しても原則1回の入国に限り有効であり、継続的なフォローアップが困難
<p>広報手法</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本への医療渡航は、渡航から帰国までの滞在プロセスが見えない。日本の医療機関によるベトナムへの情報発信とベトナムの医療機関と連携を強化して欲しい 観光メニュー表と動画は分かりやすく、滞在イメージを持つことができた 患者の同伴者も滞在するため、指宿市だけでは観光資源が少なく、近隣の市区町村もプランメニューに含めた方がよい 	<p>滞在中のサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語ではなくベトナム語通訳者のスタッフ常駐 長期滞在施設や滞在中の生活の充実 長期滞在となるため、指宿市だけではなく近隣市町村も含めた滞在プランの開発

観光事業者等とベトナム人患者の受入れ体制を構築し、医療と観光を組合せた滞在プランの実証を行うことで、国内外の連携体制強化とプラン販売の課題を明確にできた

【鹿児島県指宿市】今後の展望と課題

今年度事業で得られた成果

今後への示唆

国内連携体制



- 陽子線治療患者への観光面のフォローが困難であったが、地域の観光事業者や通訳団体と連携をとることで、医療から観光までをつなげることができた

- ベトナム人の滞在生活をサポートするために、より多くの指宿市の関係者の巻き込みが重要
- 医療機関にベトナム語通訳者のスタッフが必要
- 通訳・翻訳を担う団体と安定的に通訳人材を供給できる体制の構築

滞在プラン造成・販売



- 滞在プランを造成するにあたり、受入れ体制を整理することで、関係団体の役割や滞在プランの収益構造が明確になった
- 紹介チラシと動画しベトナム人に観光PRできるようになった

- 長期滞在時の食事への配慮を行う
- 長期滞在施設の選択肢を充実させる
- 近隣市町村も含めた滞在プランの作成
- 外国人からの観光利用時の予約方法の確立

海外連携体制



- ベトナムのがん病院と患者紹介の連携調印することができ、今後の集患に寄与した
- 国内医療渡航支援企業と具体的な契約締結の検討に入ることができた

- 集患に向けて、連携体制の継続とベトナム現地での広報方法の検討
- 積極的にがん治療と滞在プランを発信する
- 治療後のフォローアップ体制の強化

2.5 評価分析

本年度事業の取組について、滞在プランの魅力度や販売体制、販売実績、地域の理解、医療と観光の組み合わせによる成果等の項目に基づき評価分析を行った

評価項目一覧

評価項目		定量 / 定性
滞在プラン	プランの造成	定性
	魅力度	定性
販売体制	ターゲットの確立	定性
	販売体制の確立	定性
	海外への販路拡大	定性
	帰国後のフォローアップ体制	定性
販売実績	予定	定量
	実績	定量
地域医療提供体制への影響 および関係者の理解	地域の医師会等の理解	定性
	行政等の理解	定性
	連携医療機関の状況	定性
	地域医療提供体制への影響	定性
医療と観光の組み合わせによる成果		定性
地域による今後の持続的な取組の可能性		定性

各地域、滞在プランの実証を通じて医療と観光の魅力度を評価することができた。販売受入・体制については、新たな販路拡大に向けた販売網や体制整備を進めることができた

評価分析 (販売体制及び販売実績)

評価項目		沖縄県	宮城県	長野県	鹿児島県
滞在プラン	魅力度	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションのレベルが高く見習いたい。また、見学した全ての観光施設で、リハビリや健康の大切さを表しており感心した(深川医療機関) 沖縄独自で健康増進の専門的なメニューが体験できる点が良い(タラソモニター) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者の対応が良く、施設がきれいだった(FAMツアー) 自然景色がきれいで日本の伝統的な文化を体験できる。また、人が少なく、静かに観光できる(FAMツアー) 	<ul style="list-style-type: none"> “医療と自然の組合せは相性が良い”、“医療・観光で一石二鳥”(街頭調査より) “医療従事者の説明・対応が非常に良く安心して受診できた。観光では歴史に触れることができ満足”(モニター実証) 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人医師6名から長期滞在型滞在プラン実証の評価について、5点満点の評価を得る 特に青隆寺の瞑想プランの評価が高く、がん患者の精神的なケアを期待できる
販売・受入体制	ターゲットの確立	<ul style="list-style-type: none"> 中国 50歳以上を想定 ミドルからアッパー層 脳卒中患者のうち、急性期リハビリを終えてから自宅療養中の方(リハビリ) 健康意識の高い方(タラソ) 	<ul style="list-style-type: none"> 中国 40代、50代で世帯年収が40万円(約835万円, 2024.03.21時点)以上の中上所得層 検診+観光のニーズが高いファミリー層 	<ul style="list-style-type: none"> 中国 40歳以上 富裕層 観光を楽しむことができる体力を維持している 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム 50代前後 ステージ1,2の早期がん、前立腺がん患者 比較的元気な患者
	販売体制の確立(関係者連携、販売者、ランドオペレーターの設定状況等)	連携業者と具体的な販売方法を決定、具体的な販売まで詳細を検討する余地あり	ランドオペレーターを有している関係者と連携し、販売体制を確立している	実販売を見据えた体制整備を行い、関係団体の役割や収益構造の課題を洗い出した。今後、旅行業者を通じた販売を検討する余地あり	ランドオペレーターを中心とした販売体制を確立し、自走に向け、関係者とも良好なコミュニケーションがとれている
	通訳体制の確立	医療渡航支援業者を通じて体制を整備予定	医療渡航支援業者が通訳者を手配している。また、今後は地域の通訳人材を活用する予定	医療機関・観光業者それぞれで対応し、特に問題なかった	在留ベトナム人による通訳体制の構築はできたが、通訳者の常駐対応には改善の余地あり
	海外への販路拡大	中国の医療機関と保険会社に販路を拡大した	中国の旅行会社や医療渡航支援企業と連携し販路を拡大する予定	雑誌 Tokyo Weekenderを活用した新たなPR・販路開拓方法を通じて問合せ・予約を受けた	ベトナムの市立病院との連携調印締結と渡航支援企業との連携拡大を達成できている
	帰国後のフォローアップ体制	海外の事業者と連携することでの体制強化	検診結果は後日提供。帰国後の医師によるフィードバック及びリピーター獲得の促進を検討中	帰国後も受診者へ継続的に情報発信することでリピーター獲得や口コミを通じた新規受診者獲得に繋げる必要がある	ベトナム人医師の招聘をきっかけに、顔の見えるフォローアップ体制を構築した

販売実績においては、KPIの達成には至らなかったが、モニターやFAMツアーを行い、今後の受入の促進に向けた販売網の拡大及び滞在プランのブラッシュアップを実施した

評価分析 (販売体制及び販売実績)

評価項目		沖縄県	宮城県	長野県	鹿児島県
販売 実績	予定 (KPI)	5名 (リハビリ1、海洋療法4)	5名	5名	今年度設定なし (令和9年度までにベトナム人30人/年)
	モニター/FAM	5名 (海洋療法5、メニューの一部を体験)	6名	2名	在留ベトナム人1名 ベトナム人医師6名
	実販売	0名 (今年度3名問合せあり)	0名 (2024年2月に受入れ予定の3名が能登地震の影響で来日を見合わせ)	0名 (3月12日時点 雑誌 Tokyo Weekender を通じた問合せ4件あり、3件は国内在住者、1件は海外在住者。海外在住者に関しては、2024年7月で医療・観光の受入れ調整中)	0名 (事業期間中に1名受入れ)

各地域ともに、地域での連携体制の構築や強化に努めながら、地域医療提供体制に影響がないよう外国人受入れを実施中/実施予定である

評価分析 (地域医療提供体制への影響及び関係者の理解)

評価項目	沖縄県	宮城県	長野県	鹿児島県
地域の医師会等の理解	事業に関して連絡はしているものの、医師会への訪問はできていない	宮城創生DMOに所属している自治体から医師会に連絡しているが、宮城創生DMO自体の直接の連絡はなし	医療・観光を組合せた販売活動に対し容認いただいている	外国人受入れの説明は行っている
行政等の理解	事業への協力を継続して得ており、本年度から3市町村に拡大している	事業への協力を得て協議会にも参加いただいております。また、観光面において知見を共有いただいております。また、自治体の観光協会のHPに事業内容の掲載し広報の協力をいただくことを検討している	医療・観光を組合せた販売活動に対し容認を得ており、観光面においては知見共有いただいております。また、北京展示会やPR活動に使用する観光用の動画・画像を提供していただき、街頭調査では行政のサポートを得ることでスムーズに進めることができました	DMOいぶすき観光デザインと指宿観光&体験の会と協力し、行政側も事業への理解・協力を得て、観光資源や国際交流協同組合の紹介等を実施
地域の連携医療機関の状況	近隣病院に搬送の事例あり救急時は沖縄県の制度に従い、地域の救急と連携し搬送先を決定する	将来治療のニーズが発生する場合、東北大学などに紹介する体制が整っている	連携医療機関なし	外国人患者に病態の悪化等が発生した場合、近隣の急性期病院に紹介を行う体制になっているが、ベトナム人患者を受入れできる十分な多言語対応は未整備
地域医療提供体制への影響	地域医療を優先しており、現場と協議の上、目標の受入れ人数は最大で月1名と設定している	国内の受診者に影響なし	健康センターの受診者動向を踏まえ、閑散期である1～5月に誘致できると、診療への影響を最小限に抑えつつ、スタッフの確保が可能	陽子線治療の空き枠で外国人患者の受入れを行っているため、地域医療への影響なし

地域からは医療や観光それぞれでは十分な魅力が感じられない場合でも、両者を組み合わせることで地域独自の魅力や強みをアピールできるといった成果を得た

評価分析 (医療と観光の組合せによる成果)

評価項目	沖縄県	宮城県	長野県	鹿児島県
医療と観光の組合せによる成果	<ul style="list-style-type: none"> 医療と観光の共通点は「ホスピタリティ」人を思いやる心である その共通点の中でも専門性は異なるところがあり、<u>互いに学び合うことでの相乗効果</u>がある。今年度については、各地域での勉強会にて双方の良さを垣間見ることができた <u>医療×観光によりそれぞれの付加価値化が期待</u>できる 	<ul style="list-style-type: none"> 検診のみの販売促進では、<u>東京などの医療機関と比較されてしまい競争が難しいが、検診価格が手頃で、病気が発見された場合、治療先を紹介できる等の強みを有する</u> <u>四季に様々な観光コンテンツが充実し、選択的に組合せるところで競争面が高い</u> <u>東北地域の認知度が低く、地域独自の観光だけだと魅力度が足りない。</u>観光のついでに検診もできるのであれば、シナジー効果を発揮でき、誘客ポイントになる 	<ul style="list-style-type: none"> 健診のみの販売促進では、<u>大都市の有名病院と比較されてしまい競争が難しい</u> <u>地域独自の魅力と組合せてアピール</u>することが出来る。健診を受けにだけ来ていたりピーターにプロから観光の案内が出来、喜ばれている <u>長野県は自然が魅力であり、四季折々の魅力を組合せることでシーズン別の滞在プランを</u>作成できた <u>雑誌Tokyo Weekender</u>を活用した新たなプロモーション・販売方法を通じて「Know yourself, Heal yourself ~ (健診で) 自分を知り、(観光で) 自分の癒す ~」のテーマで長野の<u>医療・観光双方の魅力</u>を発信でき、問合せを受けた 	<ul style="list-style-type: none"> 病気はどんなに<u>医療技術が高度化しても心身のバランスが崩れていては、治るものも治らない</u> 指宿の火山の恵みによる自然やホスピタリティ溢れる観光体験を受けることで、<u>精神的に負荷が発生するがん患者に対して、がん治療の効果促進が期待</u>できる 海外ではメディカルツーリストの多くは家族などの団体で移動しており、患者は治療、付き添いの家族はその間旅行を楽しむ、という流れになっている。<u>観光事業者との連携は、患者がメディポリスで治療をすることを選んでもらえる可能性が高くなる</u> 今回の事業で観光事業者と一緒に観光客目線で、患者に必要なサービスの検証ができ、今後の<u>外国人患者の受入れ体制の改善に前向きな姿勢</u>を持っている

各地域が今後に向けた取組に意欲的であり、持続的な取組を進めていく方針である

評価分析 (地域による今後の持続的な取組の可能性)

評価項目	沖縄県	宮城県	長野県	鹿児島県
今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> • ようやくこれまで進めてきた深圳市の医療機関との関係構築がスタートした。<u>今後更なる中国医療機関との交流、連携を進めていく</u> • <u>中国保険会社からの海洋療法の販売が始まる</u>ため、沖縄県の観光商品を増やし受入促進に繋げていく 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>リピーターに繋げる医師の推奨意見、オンラインフィードバック等</u>外国人受診者向けのフォローアップ体制を検討していく • <u>連携先医療機関の外国人受診者受入れのキャパシティを把握する</u> • 商品造成に終わらず、<u>継続販売で地域経済活性化に寄与</u>できるように進めていきたい • <u>SNSで継続発信し</u>、宮城県の認知度向上を目指す • 宮城創生DMO内部の旅行業だけではなく、それ以外の<u>地元・大手旅行会社と連携体制を構築していく</u> • <u>中国旅行会社及び医療渡航支援企業と連携し</u>、今後の販売に繋げていく 	<ul style="list-style-type: none"> • 中長期滞在の富裕層を対象に、顧客満足度の高い<u>人間ドックと魅力的な滞在を組み合わせることによって販売を拡大</u>していく予定である • 2泊3日の総合健診だけではなく、<u>1日ドックや体カドックのみのプランも検討し、集客の幅を広げることを検討</u>する余地がある。お手軽なプランでまずは体験していただき、満足すれば、リピーター獲得に繋がる可能性がある • <u>販売体制における役割分担や料金体系・収益構造について更に詰めていく必要がある</u> • 今後もウェルネスツーリズムを促進していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> • 指宿を訪れる国内外の方々に対し、指宿市は広く門戸を開放する姿勢を持ち、行政等も加入した<u>オール指宿型のチームと組織の構築</u>を目指す • 医療と観光のチームに、<u>通訳者育成等も位置付けられ</u>、事業内で育成事業が展開を進めていくことを検討している • 本事業で招聘したベトナム5病院の医師を通じて、<u>ベトナムの医療機関と直接の医療連携を強化</u>していく • ベトナム国内の複数の医療機関に所属している放射線治療の医師たちとメディポリスと合同で、陽子線治療の勉強会グループを立ち上げる

医療要素と観光を組合せた滞在プランの1人1回当たりの旅行消費単価と、一般的な訪日外国人旅行者の旅行消費単価の比較をすることで、地域への経済効果を測った

医療と観光を組合せた滞在プランの地域への経済効果

■ 旅行消費単価の比較

① 各地域の滞在プランの総計を算出 (滞在プランの金額は、FAMツアーやモニターツアーによる実証時の見積りに基づく)

② ①の金額を受診者と同行者の合計人数で割り、1人当たりの旅行消費単価を算出

③ ②の旅行消費単価と、一般的な訪日外国人の国別・滞在日数別旅行消費単価と比較

→ 沖縄のリハビリプランは8.3倍、宮城、長野の健診・検診プランは1.8倍から2.1倍、鹿児島は13.5倍となったことからいずれの滞在プランも地域経済に貢献している

■ 地元調達率

④ 滞在プランの費用項目別の金額について、地域内で調達できた金額との割合を算出

→ 全ての項目について地元(事業実施の県内)での調達が可能であったことから、地域への経済効果があるプランであると言える

地元調達率の算定前提	沖縄：リハビリ				沖縄：タラソ				宮城				長野				鹿児島			
ターゲット国	中国				中国				中国				中国				ベトナム			
受診者	1名				1名				1名				2名				1名			
受診者の同行者	配偶者1名				配偶者1名				配偶者1名、子供1名				なし				配偶者1名			
地域における滞在日数	20泊21日 (医療15日間、観光15日間)				4泊5日 (タラソセラピー3日間、観光5日間)				4泊5日 (医療1日間、観光4日間)				4泊5日 (医療3日間、観光2日間)				6週間 (医療30日間、観光12日間)			
ツアープラン	病院＋沖縄県観光資源				タラソセラピー＋沖縄県観光資源				検診＋宮城県観光				健診・体力ドック＋奈良井宿＋松本市周辺散策				陽子線治療＋指宿観光体験			
観光同行者	通訳ガイド1名 ドライバー1名				通訳ガイド1名 ドライバー1名				通訳ガイド1名 ドライバー1名				添乗員1名、通訳ガイド1名、 ドライバー1名				添乗員1名、通訳ガイド1名 ドライバー1名			
旅行代金内訳	沖縄：リハビリ				沖縄：タラソ				宮城				長野				鹿児島			
費用項目	旅行代金		地元調達額		旅行代金		地元調達額		旅行代金		地元調達額		旅行代金		地元調達額		旅行代金		地元調達額	
	円	構成比	円	地元比	円	構成比	円	地元比	円	構成比	円	地元比	円	構成比	円	地元比	円	構成比	円	地元比
医療費	1,994,050	37%	1,994,050	100%	0	0%	0	0%	235,000	17%	235,000	100%	648,200	59%	648,200	100%	5,000,000	84%	5,000,000	100%
ファンクター・医療通訳費	540,000	10%	540,000	100%	0	0%	0	0%	240,000	17%	240,000	100%	0	0%	0	0%	24,000	0%	24,000	100%
宿泊費	880,000	16%	880,000	100%	176,000	21%	176,000	100%	327,000	23%	327,000	100%	260,200	24%	260,200	100%	541,100	9%	541,100	100%
国内移動費	1,258,000	23%	1,258,000	100%	310,000	36%	310,000	100%	200,000	14%	200,000	100%	45,100	4%	45,100	100%	63,080	1%	63,080	100%
観光(入館・体験料等)	300,000	6%	300,000	100%	100,000	12%	100,000	100%	60,000	4%	60,000	100%	32,800	3%	32,800	100%	189,280	3%	189,280	100%
観光通訳ガイド・添乗員	470,000	9%	470,000	100%	140,000	16%	140,000	100%	200,000	14%	200,000	100%	74,260	7%	74,260	100%	77,600	1%	77,600	100%
その他	0	0%	0	0%	132,000	15%	132,000	100%	150,000	11%	150,000	100%	41,236	4%	41,236	100%	56,000	1%	56,000	100%
総計	5,442,050	100%	5,442,050	100%	858,000	100%	858,000	100%	1,412,000	100%	1,412,000	100%	1,101,796	100%	1,101,796	100%	5,951,060	100%	5,951,060	100%
旅行消費単価	沖縄：リハビリ				沖縄：タラソ				宮城				長野				鹿児島			
旅行者数	2				2				3				2				2			
本事業の滞在プランの旅行消費単価(円)(A)	2,721,025				429,000				470,667				550,898				2,975,530			
一般的な訪日外国人の国別・滞在日数別旅行消費単価(円)旅行消費単価(円)(B)*1	329,637				267,533				267,533				267,533				220,383			
旅行消費単価の倍率(A)÷(B)	8.3				1.6				1.8				2.1				13.5			
備考					その他：タラソセラピーに必要な費用				その他：食事代				その他：旅行者による管理料 医療通訳は院内の中国語対応可能なスタッフで対応				その他：長期滞在施設に滞在中の生活費(生活費1日2,000円の想定)			

*1 観光庁 訪日外国人消費動向調査、参考1 国籍・地域(21区分)別 1人1回当たり旅行消費単価(パッケージツアー参加費内訳含む) 2023年10-12月2次速報

3. 中国国際医療観光展示会への出展

2023年11月19日～21日に開催された中国国際医療観光展示会では、計14か国の76組織が出展した

中国国際医療観光展示会の概要 (1/2)

※展示会パンフレットをもとに集計

名称	CMTF第十九回北京国際医療観光展示会
開催期日	2023年11月19日 -21日
展示会会場	北京 - 中国国際展覽中心 (朝陽館)
展覧会面積	約120,000㎡
主催者	世界医療観光産業連盟 (world medical tourism industry alliance)
テーマ	生殖補助医療、人間ドック、重症治療、慢性病治療、輸入薬品、再生医療、美容医療、アンチエイジング、細胞治療、医療観光等
独占スポンサー	磨丁天韻生殖遺伝医院 (BRG)
出展組織数※	76組織
出展国数※	14か国

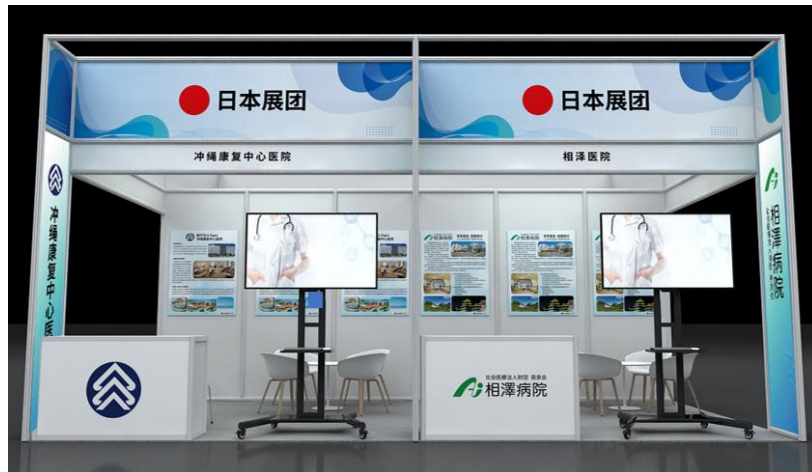
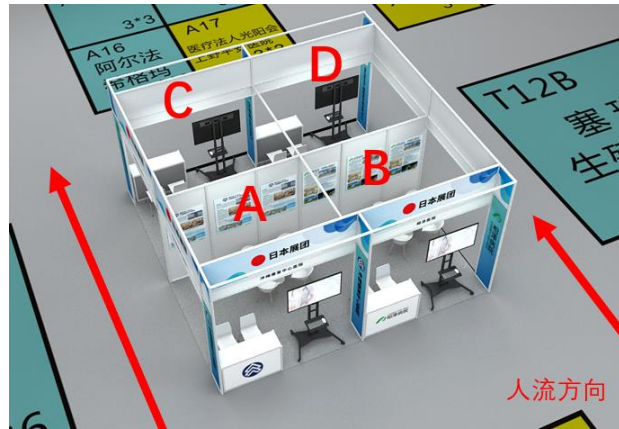
展示会外観及び内部



出所： https://www.cmtf.net/news_view.php?id=4255

本事業への参画地域は「日本展団」として合同出展を行い、各地域はブースに設置した展示ボードや動画を通して医療と観光を組み合わせた滞在プランや観光資源の魅力をPRした

本事業の「日本展団」ブースのデザイン



レンタル備品：モニター、受付台、折り畳みいす4脚
テーブル1台、コンセント、パンフレット用ラック

A 相澤病院

社会医療法人財団 慈恵会

高野大智寺
上南岳
白馬乗鞍村
松本城
結城控
青柳説
Sotayama Villa 和洋
利用当地医疗和旅游资源链接接待外国人项目

B 医疗法人Topic 沖縄康復中心医院

沖縄康復中心医院

实际康复治疗过程
利用当地医疗和旅游资源链接接待外国人项目

C 宮城創生DMO

一般社団法人 宮城創生DMO

宮城蔵王狐狸村
在蔵王連峰と小狐狸零距离接触

网红小狐狸
蔵王連峰満山遍野の“怪物”
蔵王村水
利用当地医疗和旅游资源链接接待外国人项目

D Medipolis 国际质子线治疗中心

天降る丘

Medipolis 国际质子线治疗中心
酒店房间
温泉景观浴池露天浴
法式料理
创意御食(和食)
利用当地医疗和旅游资源链接接待外国人项目

1地域3枚の展示ボードを制作し、医療と観光の魅力をPRした

展示会に出展するという目標を持つことで、滞在プランや展示物の作成を進めることができたが、出展後のフォローアップに課題が残った

「日本展団」に関する事務局総括

■ 出展準備

- COVID-19による制限が緩和され、医療渡航受診者の受入れ体制の再構築という状況であったにも関わらず、出展が決まってからは全地域とも非常に協力的であった
- 過年度事業で滞在プランを作成したものの、実際の販売につなげるイメージが出来上がっていなかったため、展示会に出展することで、販売を見据えた具体的な検討や資料の準備を進めることができた

■ 出展から得たこと

- 長野や宮城については、来場者の質問に対して「どこにあるのか」という説明から入ることになり、都心からの距離やアクセスがボトルネックになるため、観光の魅力と組合せないと、都心の医療機関にはかなわないということを自覚した
- 4地域の関係者間で交流を図る機会が持てたため、事業としての一体感を感じることができる良い機会となったが、渡航前に各地域の取組を理解しておきたかったとの意見も聞かれた
- 独自で出展していた日本の医療機関からは「合同出展をすることで、信用を得やすいため、来年は是非声をかけて欲しい」との声が聞かれた

■ 課題

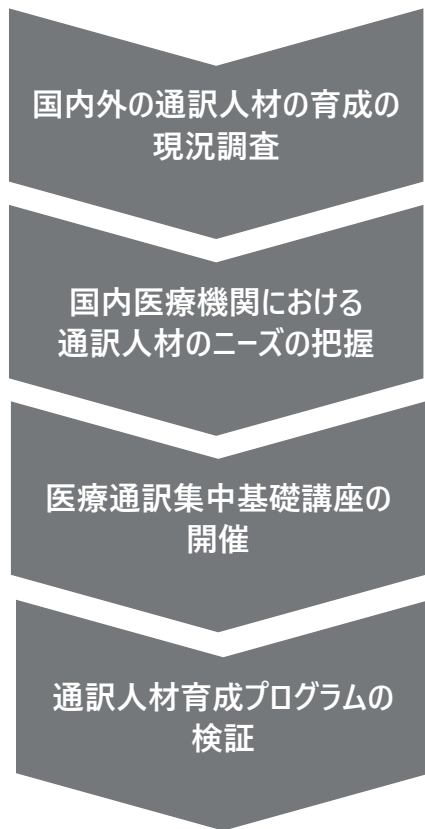
- 来場者とWeChat等の連絡先を交換するものの、信用できる取引先であるかの判断できず、その後のコミュニケーションを続けることができていない
- 滞在プランは提示できたものの、販売者が誰なのかが確立していない状況であったため、販売実績に繋げることが難しい



4. 地域の外国人受入れ人材育成モデルの実施可能性調査

観光から医療まで一貫して通訳できる人材を育成するためのモデル構築について、文献・ヒアリング調査の実施や医療通訳講座のトライアル開講により検討した

外国人受入れ人材育成モデルの実施可能性調査



- 文献調査
 - 観光から医療まで一貫して通訳できる人材 (観光人材) を育成するにあたり、諸外国における観光人材の育成の現況等を調査する
 - 調査項目：諸外国における観光人材の有無・人数・資格種類・観光人材の活用における課題等
- ヒアリング調査
 - 医療機関を対象に医療通訳人材の確保や育成に関する現状や観光人材が医療通訳を行う場合の課題や懸念事項についてヒアリングを実施する
- 医療機関や地方自治体での観光人材の活用可能性の検討
 - 本年度事業に参画している地域の通訳人材や通訳案内士の資格を有する者を対象に医療通訳講座を開催し、座学及び実務演習の研修を行う
- 調査及び研修結果の検証
 - ヒアリング調査結果や通訳研修結果に基づき、観光から医療まで一貫して通訳できる人材の育成モデルの構築における課題整理を行う

日本の医療機関での観光通訳人材の活用の実現可能性を検証するため、医療渡航者の受入れに積極的な諸外国における通訳人材育成の取組について調査した

通訳士に関する課題及び人材育成の取組 (サマリー)

日本 医療通訳士不足、 観光通訳人材の活躍の場不足

- 全国通訳案内士の受験資格に制限はなく、医療通訳士取得よりはハードルが低いものの、近年合格者の伸び悩みが見える
- 全国通訳案内士の資格を就業目的で取得する人は半数程度であり、資格を活かして就業している人が少ない
- 医療通訳士の資格取得はハードルが高く、合格者数が少ない
- 医療機関では医療に精通した通訳人材を直接採用しているケースもあるが、多くはボランティアや派遣によるものが多く、観光通訳人材の活用は見られない

米国・韓国 統一した基準の整備又は 国主導で資格整備

【米国】

- 医療通訳士の質を確保するため、2 団体が医療通訳士の主な基準を定めており、各機関はこの2つの基準に沿ったテスト設計を進めている

【韓国】

- 保健福祉省、文化体育観光省、雇用労働省傘下の公的機関が通訳の教育や資格試験等を整備している
- 更に、韓国産業人材公社は国際医療観光コーディネーターの資格取得試験を実施しており、資格取得者は外国人患者に対する医療サービス及び観光のサポート業務に従事することができ、年間100人前後の合格者を輩出している

マレーシア・タイ・シンガポール 医療者と渡航者の言語が共通 医療機関でトレーニング整備

【マレーシア】

- 母国語であるマレー語を主言語とするインドネシアからの渡航者が多く、患者と医療者間において意思疎通がしやすい
- 医療観光で主要な医療機関において、様々な言語対応が可能であり、多くの医療機関では自院で通訳士を採用している

【タイ】

- 医療や観光において、通訳士の資格は整備されていない
- 医療観光で主要な医療機関において、様々な言語対応が可能であり、自院でトレーニングプログラム等を展開している

【シンガポール】

- シンガポールの公用言語は英語、中国語、マレー語、タミール語であり、医療渡航インバウンド主要国であるインドネシア、マレーシア、中国の言語をカバーしており、患者と医療者間において意思疎通がしやすい
- 医療観光で主要な医療機関において、様々な言語対応が可能であり、自院でトレーニングプログラム等を展開している

医療通訳体制を整備していると思われる医療機関を抽出し、通訳人材の確保状況や観光人材の活用可能性に関するヒアリングを実施した

医療通訳者及び医療通訳ツールの配備状況サマリー

区分	医療機関名	医療通訳者			通訳ツール	
		英語	中国語	その他	遠隔通訳	機械翻訳
病院	地方独立行政法人東京都立病院 機構東京都立広尾病院	兼務6名	兼務3名	院内ボランティア20-30名	<ul style="list-style-type: none"> NTT東日本「みえる通訳」1台 東京都保健医療局の「医療機関向け救急通訳サービス」 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットク24台（病棟、コメディカル、外来等） スマホアプリVoiceTra（病棟等11か所）
	非公開	専従2名 兼務1名	専従1名 兼務2名	台湾語1名、スペイン語1名、ヒンディー語1名、ロシア語1名	<ul style="list-style-type: none"> NTT東日本の「みえる通訳」1台 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットク3台
	藤田医科大学病院	兼務1名	専従2名 兼務2名	－	<ul style="list-style-type: none"> コニカミノルタ株式会社MELON 「あいち医療通訳システム」の電話通訳 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットク
	非公開	－	専従2名	NPO法人からの派遣	<ul style="list-style-type: none"> メディフォンの電話通訳 	<ul style="list-style-type: none"> ポケットクのSIM機種を2台、wifi機を複数台
	非公開	1名	1名	提携先の遠隔医療医通訳サービス会社	<ul style="list-style-type: none"> 東和エンジニアリングのMedi way 3台 大阪府の遠隔医療通訳サービス(株)メディフォン 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳アプリ 多言語問診専用タブレット
	非公開	－	－	NPO法人からの派遣	<ul style="list-style-type: none"> コニカミノルタ株式会社「MELON」19台 	－
クリニック	亀田京橋クリニック	兼務2名	兼務2名	－	－	－
	東京ミッドタウンクリニック	兼務3名	－	－	<ul style="list-style-type: none"> メディフォン 	－
	りんくうメディカルクリニック	－	専従1名	台湾語1名	－	－

医療通訳人材の育成に熱心な医療機関では院内での勉強会や外部の医療通訳者を対象としたセミナーを開催したり、ロールプレイの場を提供したりしている

医療機関へのヒアリング結果サマリー

複数の医療機関によるヒアリングの回答内容を項目別に以下の通りに整理した

医療通訳者の配備	渡航支援企業の医療通訳者が手配される	院内の外国語対応が可能なスタッフが通訳を行う	自治体やNPOの医療通訳派遣サービスを活用する
医療通訳費	渡航受診のパッケージ料金に含んで受診者に請求している	自治体やNPOの医療通訳派遣サービスの利用料が発生する	外国語が堪能なスタッフが対応しているため、通訳費を受診者に請求していない
医療通訳人材の採用・確保	大学の通訳育成コースの実習生や卒業生を大学病院で雇用する	語学力のある医療従事者や職員を雇用し、通訳との兼務にあたってもらう	院内・院外ボランティアを募集する
医療通訳者の育成方法	院内で事例共有勉強会を開催。外部の医療通訳者を対象にセミナーを開催し演習の場を提供した	医療通訳2名体制によるOJTを実施している	特になし(自己研鑽)
医療通訳に係る課題	語学力の差により、通訳の質の担保が難しい	医療通訳人材の育成に労力や時間を充てられない	医療通訳者自身のメンタルケアが必要
	ベトナム語など、英語・中国語以外の言語への対応が増加	医療通訳業務と患者のアテンド等のサービス業務の範囲の不明確さが現場の混乱を来す	勉強しても雇用に結びつかずボランティアの位置づけであることも多い
医療機関での通訳案内士の活用に関する意見	総合案内や医療コーディネーターが適している	基本的な医療の専門用語を学べばある程度可能である	インフォームド・コンセントや診察・治療の通訳はハードルが高い

観光から医療まで一貫して通訳できる観光人材育成プログラムのモデル構築に向けて、医療通訳集中基礎講座をトライアルで開講し、課題整理を行った

医療通訳集中基礎講座：プログラム概要

プログラム名	観光から医療まで一貫して通訳できる観光人材育成事業～医療通訳集中基礎講座～	受講者数	17名
目的	観光から医療まで一貫して通訳できる観光人材育成プログラム(基礎編)のモデルを構築する	講座内容	<ul style="list-style-type: none">• 日本の外国人医療の変遷(医療通訳者の活躍の可能性)• 医療インバウンド概論• 医療インバウンド基本フロー• 観光通訳、医療通訳、渡航医療通訳、コミュニティ通訳の違い• 通訳倫理・技術• 健診に必要な基礎医学知識• 健診の流れや注意事項• 演習(重要事項説明書とキット説明、問診票、結果説明の通訳)
対象者	観光や医療の通訳に関心がある者 (受講に必要な基礎語学力がある者)		
対象言語	英語コース 中国語コース		
開催日時	2月23日(金) 10:00- 16:00 2月24日(土) 10:00- 16:00 2月25日(日) 10:00- 16:00		
開講場所	事務局のオフィスのセミナールーム		
総受講時間	15時間		

通訳案内士とは外国語を用いて旅行に関する案内をする者であり、通訳者ではないため医療現場で活躍するには基礎的な医療知識や通訳技術を習得する必要がある

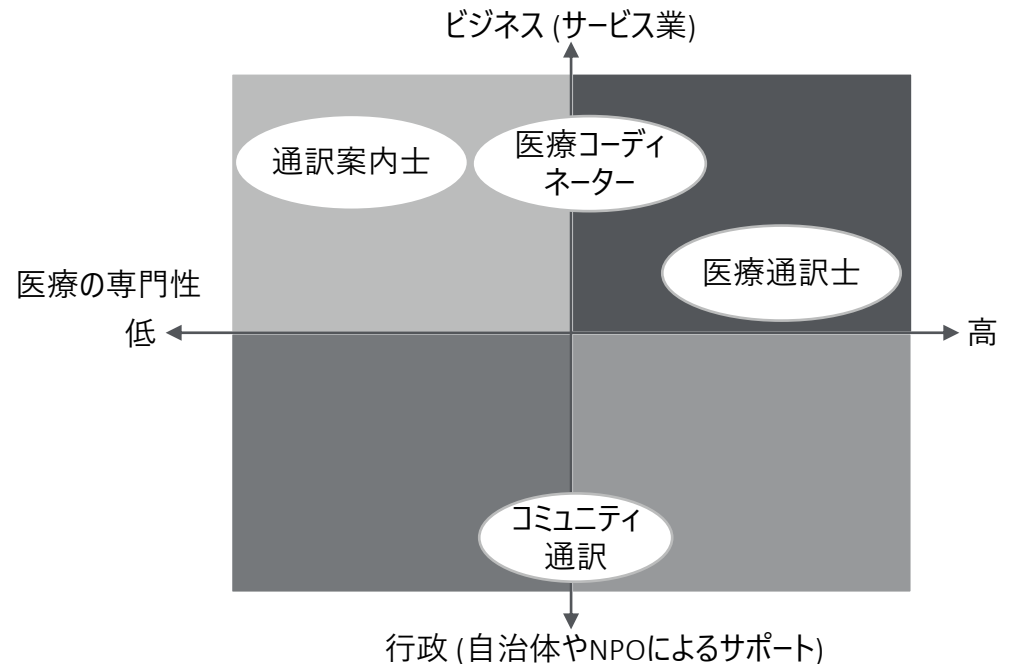
医療現場における通訳案内士の活用可能性の検討

【通訳案内士と医療通訳関連の役割の違い】

- 通訳案内士
 - 通訳案内士法において「報酬を得て、通訳案内 (外国人に付き添い、外国語を用いて、**旅行に関する案内**をすることをいう。)を業とする。」とされている
 - 国家資格保有者として高い語学力を有する
- 医療通訳士
 - 文化・宗教・習慣の違いを踏まえて、医療従事者と外国人受診者との**言語のやりとりを仲介**する
 - 認定試験による医療通訳士制度はあるが国家資格ではない
- コミュニティ通訳
 - **医療、司法、行政サービスの一環**で行われる通訳であり、NPOや自治体等がコミュニティのために通訳サービスを提供している
 - 平等性を保つため、通訳以上のサービスの提供をしないよう指導を受けている場合がある
 - 地域住民をサポートするためのボランティア精神が高い
- 医療コーディネーター
 - 医療を目的とする訪日外国人の**渡航前から帰国後までの調整**を行う
 - 医療通訳と連携して渡航受診者の対応に当たる場合もある

【医療機関へのヒアリングや通訳講座の開講に基づく示唆】

- ✓ 通訳案内士の高い語学レベルと、日本の文化を理解した上で外国人を案内するというサービス業経験を医療機関で活かすことは可能である
- ✓ ただし、通訳案内士は医療に関する基礎知識や通訳技術を習得する必要がある



注)上の図のように、医療の専門性と通訳サービスのビジネス度により通訳案内士や医療通訳士等の位置づけのイメージを示したが、実際には語学レベルなどにより個人差がある

5. 成果報告会

本事業における取組の成果をモデル事業として発表し、日本国内の他地域での横展開につなげることを目的として、成果報告会を開催した

成果報告会の開催概要

成果報告会	
開催目的	本事業における取組の成果をモデル事業として発表し、日本国内の他地域での横展開につなげる
日時	2024年2月28日(水) 14:00-16:00
対象	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に参加している地域関係者 医療機関 観光事業者 地方自治体職員(観光、医療、共生施策担当部) 医療渡航支援企業
開催方法	Zoomウェビナー(事務局の会議室より配信)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 事業概要 中国国際医療観光展示会への出展 本年度の活動成果 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域での連携体制の構築 ✓ 滞在プラン造成のプロセス ✓ プロモーション施策 パネルディスカッション及びQ&A
告知方法	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省：厚労省HP、自治体、四病協への案内 観光庁：観光庁HP MEJ：会員組織の医療機関・医療渡航支援企業 トーマツ：医療機関等 各地域の関係者：地域の観光事業者等

成果報告会のチラシ

令和5年度

「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業」成果報告会

～日本の医療と地域の観光資源の融合～



厚生労働省・観光庁では、日本の優れた医療と地域の観光資源を組み合わせた滞在プランの提供などにより、海外からの外国人受入れを推進することを旨とし、「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業」を実施しており、モデル事業の構築に向けた各地域の取組について発表します。

参加費 無料 日時：令和6年2月28日(水) 14:00-16:00

開催方法：Zoomウェビナー(お申込み完了後、URLをお送りいたします)
 定員：400名
 対象：

- 医療関係者
- 観光関係者
- 地方公共団体(観光、医療、共生施策担当部)
- 医療渡航支援企業

プログラム(当日変更の可能性あり)

- 事業概要
- 中国国際医療観光展示会への出展報告
- 本年度の活動成果

沖縄県：医療法人タビック
 宮城県：宮城創生DMO
 長野県：「信州・松本発のウェルネスツーリズム」推進委員会
 鹿児島県：メディポリス医学研究所

お申込み
 【申込フォームURL】
<https://forms.office.com/e/rd2e7AqtMT>
 ※右のQRコードからもお申し込みいただけます
 【申込期限】令和6年2月23日(金)17:00



お問合せ
 有限責任監査法人トーマツ(本事業受託事業者)担当：水上
 厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室

成果報告会の申込者数108人に対し、参加人数は74人 (69%) であった。参加者からはターゲット選択や競合相手、販売価格や医師会との関係など幅広い質問が挙がった

報告会参加者数の内訳

参加登録	参加人数
申込者数 (Forms)	108人 (重複は除く)
Zoom登録者数	87人 (78%) (トーマツ除く)
報告会参加人数	74人 (69%)

所属先	申込者数	参加人数
医療機関	54	39
観光事業	9	10
政府 (経済産業省、国土交通省)	4	4
地方公共団体	8	7
医療渡航支援企業	1	0
個人	1	3
その他	31	11
(例)		
保険会社		
医療通訳		
医療人材派遣		
医薬品販売		
企業の保険組合		
再生医療関連事業		
クラウドサービス事業		
コンサルタント事業		
信託銀行		
合計	108人	74人

報告会中に参加者から受けた質問一覧

分類	Q&A記載事項
医師会との関係について	ポジティブ・ネガティブ、いずれもどのようなことが起こったのか、どういったコミュニケーションを取られたか
問合せへの対応について	小規模なファシリテーターは昨今、日本国内に多数増えていると思うが、今回の北京展示会をはじめとしたPRにより想定しない規模のファシリテーターから新規提携の問合せや、ご苦労も多くあったと推察する。その際の対応は、1つ1つ対応されたのか
事業の競合について	世界に目を向けた場合、健康と観光を掛け合わせて本事業の一番のコンペティター (競合) はどの国になると考えているか
販売価格について	全体的に単価が安すぎる気がするが、テスト事業のために敢えて単価を上げていないのか。実際の販売価格も同程度の価格を想定しているのか
ターゲット選択について	(鹿児島県への質問) 中国の次にベトナムをターゲットとされた理由は何か。言語の面でも受入れ準備に相当苦労されたかと推察する
医療通訳者/医療翻訳者について	事業実施にあたり、医療通訳者及び医療翻訳者の選定はどのように実施されたのか。また、医療通訳者及び医療翻訳者の確保が難しい場合はどのように対応される予定なのか

6. 今年度事業の成果及び今後への示唆

本年度事業では、滞在プランの造成や地域の連携体制強化の成果が一定程度出たものの、実販売につなげるためには販売者の明確化やプロモーションの強化が必要である

今年度事業の成果及び課題に基づく提言

成果・発見事項

課題の抽出

次年度以降に向けた提言

各地域の滞在プランの造成



- 中国国際医療観光展示会への来場者の反応や長野の街頭調査から、医療と観光を組合せた滞在プランにより地域への誘客の可能性を再認識することができた

- 滞在プランのパッケージ化は治療目的の渡航受診者のニーズに合わない
- 中国の健診のレベルが上がっているため、日本の健診との差別化を示さないと、日本の健診の魅力や価格の妥当性が伝わりにくい

- 1年で地域の関係構築から商品販売につなげるのは難しいため、新たに取り組む地域は「滞在プランの造成」、取組が進んだ地域は「マーケティング・販売」を目標に伴走支援を行う

滞在プランのプロモーション及び販売



- 沖縄のタラソテラピーや長野の体力ドックも医療要素をアピールすることが大切であるとわかった
- 販路拡大に向けた海外連携や雑誌・SNSを活用したプロモーションが進んだ

- 滞在プランの販売者が明確でなくプロモーションが十分でなかったため、事業期間中の販売実績にはつながらなかった
- 滞在プランや広報マテリアルを制作しても、個々の医療機関や地域で海外に発信することには限界がある

- 地域の連携体制構築において、滞在プランの販売者を明確にする
- マーケティング戦略を立案し、適切な広報手段を講じる
- 国の事業としての海外発信や医療渡航受診者の受入れに関する情報の一元化を進める

観光から医療まで一貫して通訳できる観光人材の育成モデルの構築事業



- 医療通訳の知識や技術の習得に関心がある地域関係者の発掘をすることができた
- 通訳案内士は逐語通訳の経験があると思われがちだが、ガイドの要素が大きいいため、基礎的な医療用語の他、通訳技術も学ぶ必要がある

- 医療通訳者の語学のレベルの差が大きく質の担保が難しい
- 医療機関は医療通訳の人材育成に割く時間や人材のリソースがない
- 医療通訳の勉強をしたものの、実務経験を積む場がなく職につながらないケースがある

- 通訳案内士が医療現場に触れ、通訳案内士で対応できる業務範囲や通訳技術の習得に必要な教育プログラムを検討する
- 医療現場がインターンシップや実習の場を提供するために必要なサポートや仕組みを検討する